

認定 NPO 法人キッズドア 2025 冬 子育て家庭アンケート調査結果報告

2025 年 11 月 認定 NPO 法人キッズドア

目次

認定 NPO 法人キッズドア 2025 冬 子育て家庭アンケート調査結果報告	1
1. 調査概要	2
2. 調査結果まとめ	2
3. 調査結果	4
3.1 回答者の基本属性	4
3.2 物価高騰の生活や家計への影響	8
3.2.1 生活や家計の状況	8
3.2.2 政府の取組について	17
3.2.3 年末年始の過ごし方	22
3.3 現在の困りごと	35

社会を良くするたしかな一歩



この事業は中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受け実施しています。

赤い羽根
福祉基金

1. 調査概要

- 目的：物価高騰の生活や家計への影響について実態を把握することで、困窮子育て家庭の抱える課題を明らかにし、必要な支援を検討するための示唆を得ること。
- 対象：キッズドア・ファミリーサポート登録世帯
- 調査期間：2025 年 10 月 31 日～2025 年 11 月 10 日
- 回答数：1,924 件（回答率：43%）

2. 調査結果まとめ

● 回答者の基本属性

- ✓ 回答者の 95%が「女性」、年齢は 30～50 代が中心で、「40 代」が半数と最多。居住地は「南関東」を中心に、「近畿」や「九州・沖縄」・「東海」など全国各地に広がる。
- ✓ 世帯構成は「母子世帯（離婚調停中、別居中など含む）」が約 9 割を占め、「ふたり親世帯」は 1 割未満。扶養している子どもの人数は「1 人」（42%）や「2 人」（35%）が多く、子ども 3 人以上との回答は全体の約 2 割。子どもの学校種として最も多いのは「小学校」（49%）であり、「中学校」（38%）、「高等学校」（31%）が続く。
- ✓ 世帯所得 200 万円未満が全体の半数超、所得 300 万円未満が 8 割超。また、「貯金はない」が全体の約 3 割、貯金なしを含む貯蓄 10 万円未満が半数。
- ✓ 受給している公的手当としては、「児童扶養手当（全部支給）」が約半数と最も多く、「児童扶養手当（一部支給）」、「住民税非課税（所得割・均等割）」が約 3 割。

● 物価高騰の生活や家計への影響

- ✓ 全体の 99%が、コロナ禍以降、経済的に苦しい状況が続いていると感じている。また、約 6 割が、自身の家庭について子育て家庭の中でも生活が苦しい方だと思うかとの質問に「とてもそう思う」と回答した。
- ✓ 物価高騰の生活や家計への影響の上位は、「貯金ができなくなった」・「保護者の食事が減ったり、栄養バランスが悪化している」・「電気やガスの利用を控えている（冷暖房、お風呂やシャワー、照明など）」、いずれも 7 割超が選択。子どもの健康状態の悪化は 13%であった。
- ✓ 「所得 100 万円未満」では、保護者の健康状態の悪化は約半数、子どもの健康状態の悪化は約 2 割と、健康への影響の広がりも懸念。一方で、「所得 300 万円以上」でも、保護者の食事や電気・ガスの利用に影響が出ているとの回答は 6 割を超え、物価高騰の生活への影響は、どの所得のグループにも広がっていることがうかがえる。
- ✓ 85%の回答者が、物価高騰に対して、政府の困窮子育て家庭への支援の取組が十分ではないと考えていることが分かった。また、物価高騰の中で、子育て家庭が十分な食事を摂れるように政府に希望する対策としては、「現金給付をする」が圧倒的に多く、7 割を超えた。2 位は「食料品の消費税率を下げるまたはゼロにする」（35%）であった。
- ✓ 年末年始、子どもにクリスマスプレゼントを用意する予定との回答は 36%、お年玉を用意する予定との回答は 27%。これに対し、「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」との回答が 6 割を超えた。
- ✓ 年末年始のイベントのために増える予定の出費は、「1 万円未満」（28%）や「1～2 万円未満」（25%）が多く、「0 円（増えない）」（11%）も合わせると、2 万円未満が約 6 割を占めた。これらの出費の増加への対応としては、「貯金を崩す」（56%）が最も多く、「保護者の仕事を増やす（シフトを増やす、副業や単発のアルバイトをするなど）」（35%）が続く。「その月の家

計から工面できる」は 1 割に満たず、大多数の家庭で、ふだんの家計以外からのお金の工面が必要な状況となっている。

- ✓ ふだんの休み以外に年末年始の休暇が「ない」という回答者が約 2 割。その主な理由としては、「年末年始に休みのない仕事だから」(49%) とともに、「家計のために働く必要があるから」(44%) も 4 割を超えた。

- 現在の困りごと

- ✓ 物価高騰の生活や家計への影響、年末年始の心配に加え、回答者からは、子どもの学校生活にかかるお金（進学時の制服代など）、学習や大学進学（塾代、学習支援へのニーズ、大学受験や進学後の費用など）、保護者の就労、公的手当の所得制限といった様々な困難を伝える回答が寄せられた。

3. 調査結果

3.1 回答者の基本属性

回答者のほとんどが「女性」(95%)であり、年齢は「40代」(50%)が半数と最も多く、「30代」(25%)、「50代」(21%)が続く。居住地は東京都を含む「南関東」(31%)を中心に、「近畿」(17%)や「九州・沖縄」・「東海」(いずれも12%)など全国各地に広がっている。

世帯構成は「母子世帯(離婚調停中、別居中など含む)」(89%)が約9割を占め、「ふたり親世帯」(7%)は1割未満である。生計を一にする家族の人数は「2人」(38%)や「3人」(35%)が多い。扶養している子どもの人数は「1人」(42%)や「2人」(35%)が多く、子ども3人以上との回答は全体の21%であった。子どもの学校種として最も多いのは「小学校」(49%)であり、次いで「中学校」(38%)、「高等学校」(31%)となっている。

2025年の世帯所得は、「100～200万円未満」(38%)が最も多く、所得200万円未満が全体の半数超、所得300万円未満が8割超となっている。また、「貯金はない」(34%)との回答が全体の約3割、貯金なしを含む貯蓄10万円未満が半数を占めた。「借入がある」(42%)との回答は全体の約4割である。

受給している公的手当としては、「児童扶養手当(全部支給)」(48%)が約半数と最も多く、「児童扶養手当(一部支給)」(30%)、「住民税非課税(所得割・均等割)」(27%)が続いた。

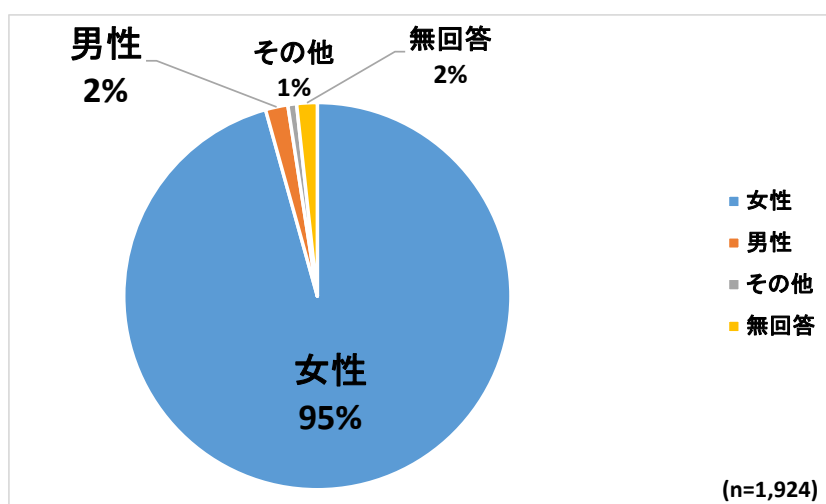


図 1 性別

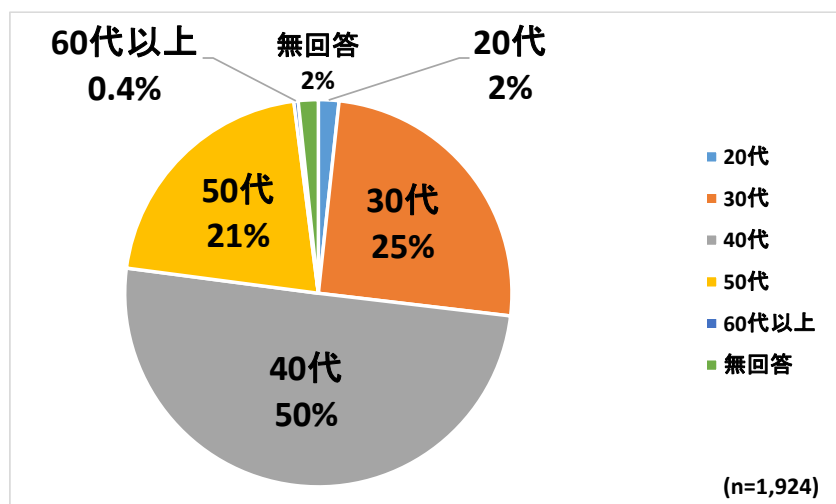


図 2 年齢

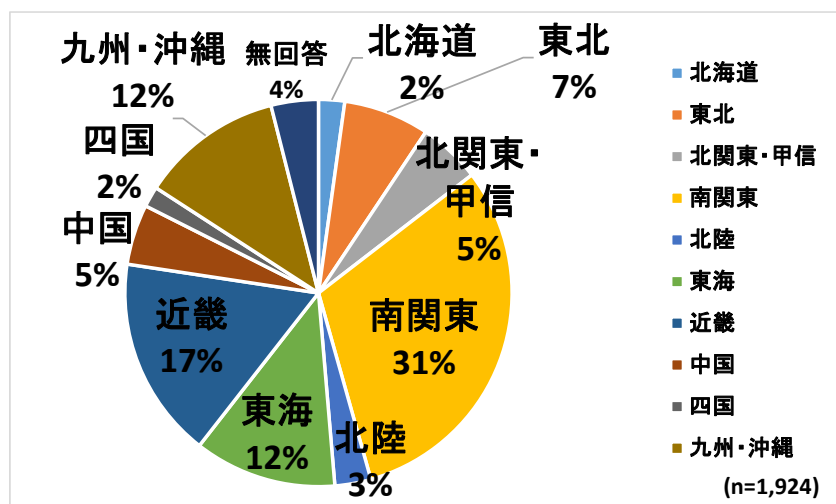


図 3 居住地

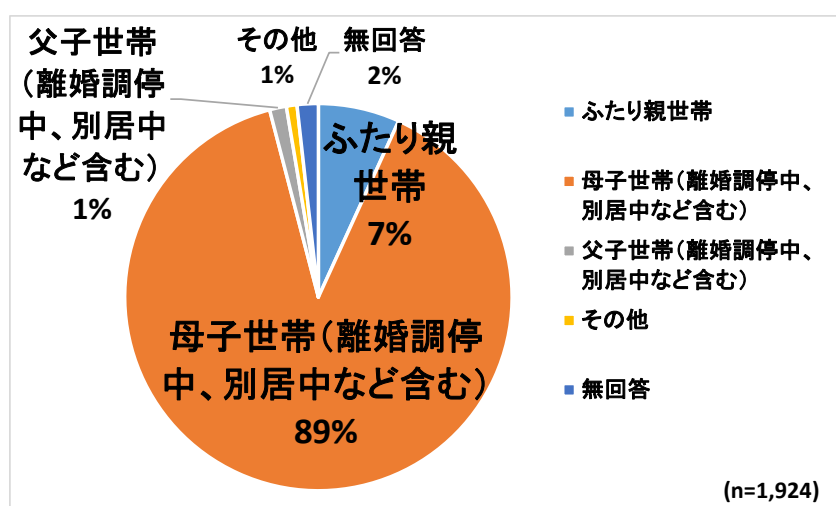


図 4 世帯構成

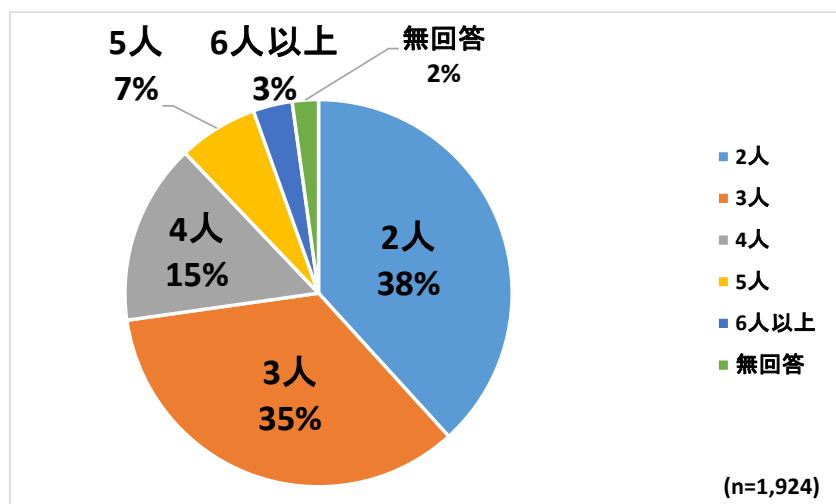


図 5 生計を一にする家族の人数（回答者自身を含む）

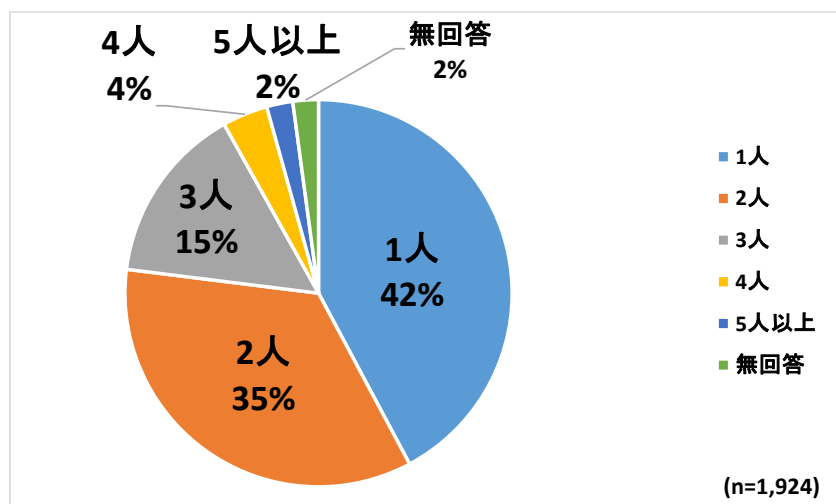


図 6 扶養している子どもの人数

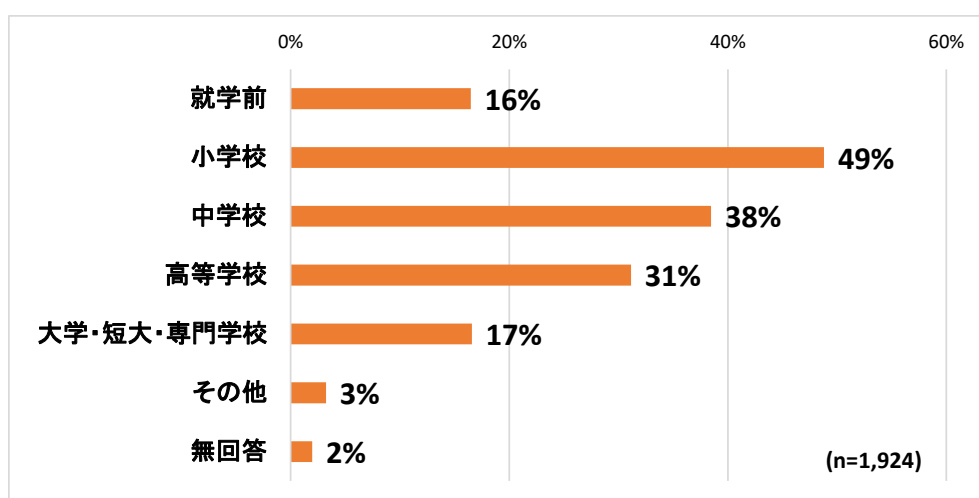


図 7 子どもの学校種（複数回答）

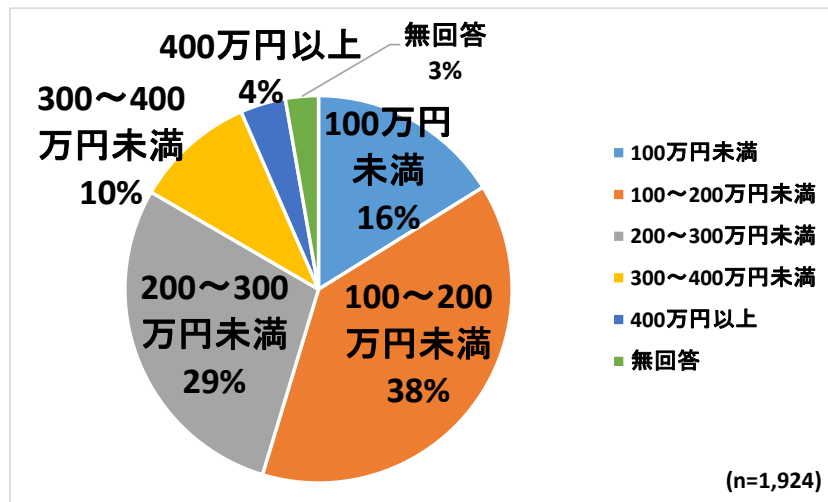


図 8 2025 年の世帯所得（予想）

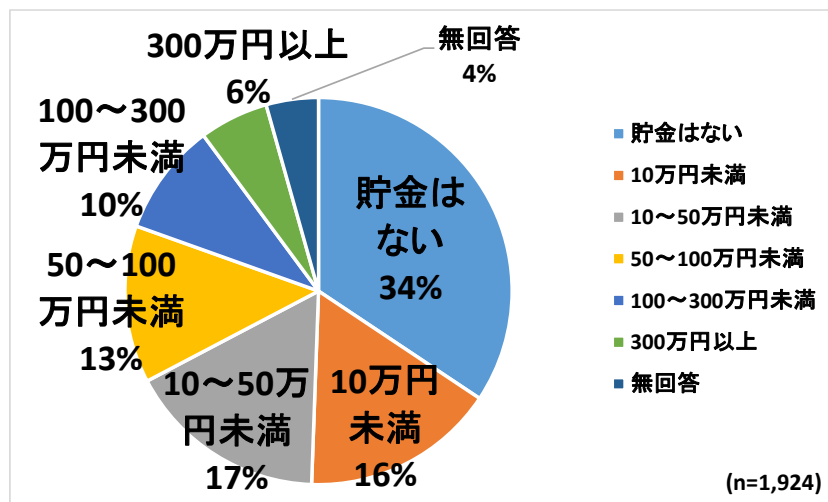


図 9 2025 年 10 月時点の貯蓄額

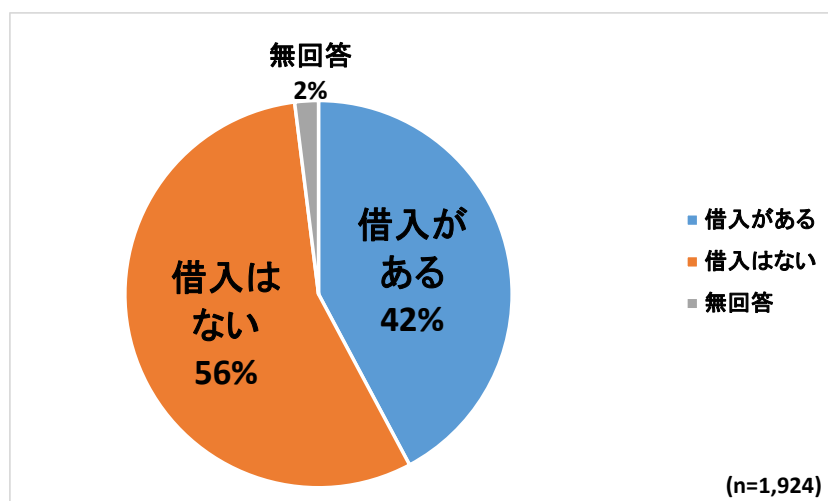


図 10 借入の状況

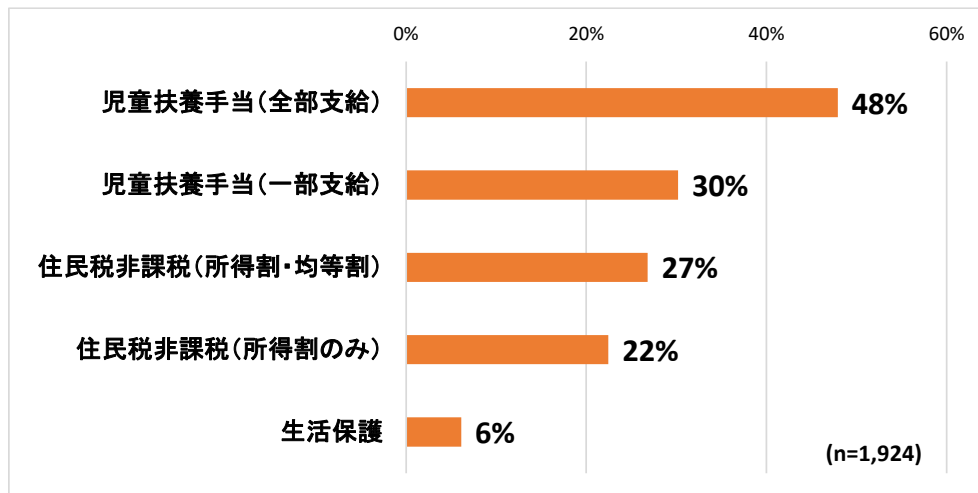


図 11 受給している公的手当（複数回答）

3.2 物価高騰の生活や家計への影響

3.2.1 生活や家計の状況

(1) 単純集計

コロナ禍が始まった 2020 年以降、経済的に苦しい状況が続いているかとの質問に対しては、「とてもそう思う」との回答が 75%と最も多く、「まあそう思う」(24%) も合わせると、全体の 99%を占めた。自身の家庭について、子育て家庭の中でも生活が苦しい方だと思うかとの質問には、「とてもそう思う」(59%) との回答が約 6 割を占めた。

物価高騰の生活や家計への影響では、「貯金ができなくなった」(78%)、「保護者の食事が減ったり、栄養バランスが悪化している」(75%)、「電気やガスの利用を控えている（冷暖房、お風呂やシャワー、照明など）」(74%) を選択する回答者が多く、いずれも 7 割を超えた。「子どもの成長に合わせた衣服や靴を購入できない」(57%) と「子どもの食事が減ったり、栄養バランスが悪化している」(49%) という、子どもの衣食についての項目も半数程度が選択した。各種の支払いの滞納やお金を借りるといった家計の深刻な悪化は 2 割台、子どもの健康状態の悪化は 1 割超であった。

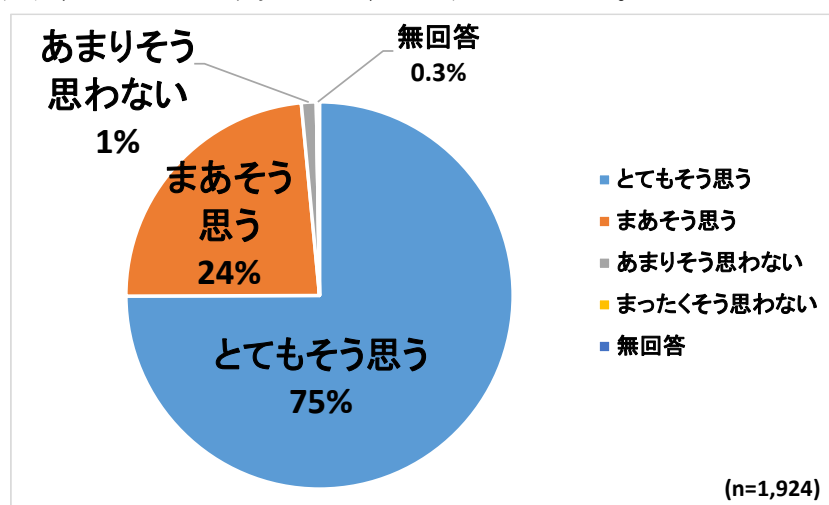


図 12 コロナ禍以降、経済的に苦しい状況が続いているか

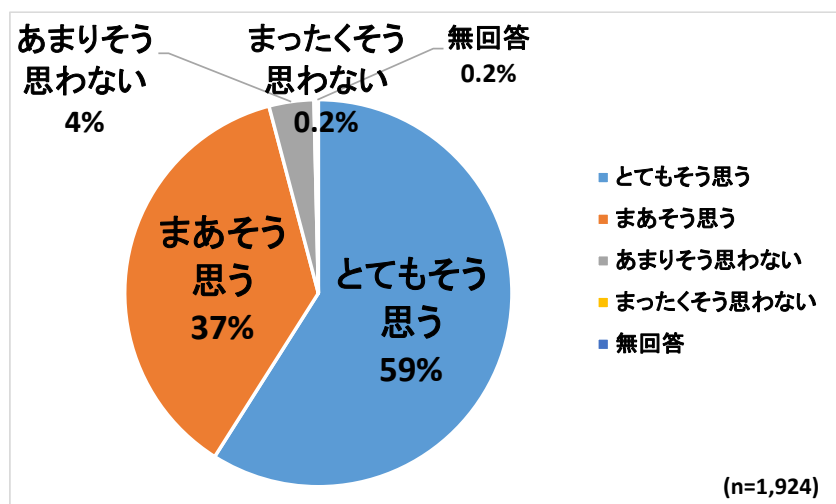


図 13 自身の家庭は子育て家庭の中でも生活が苦しい方か

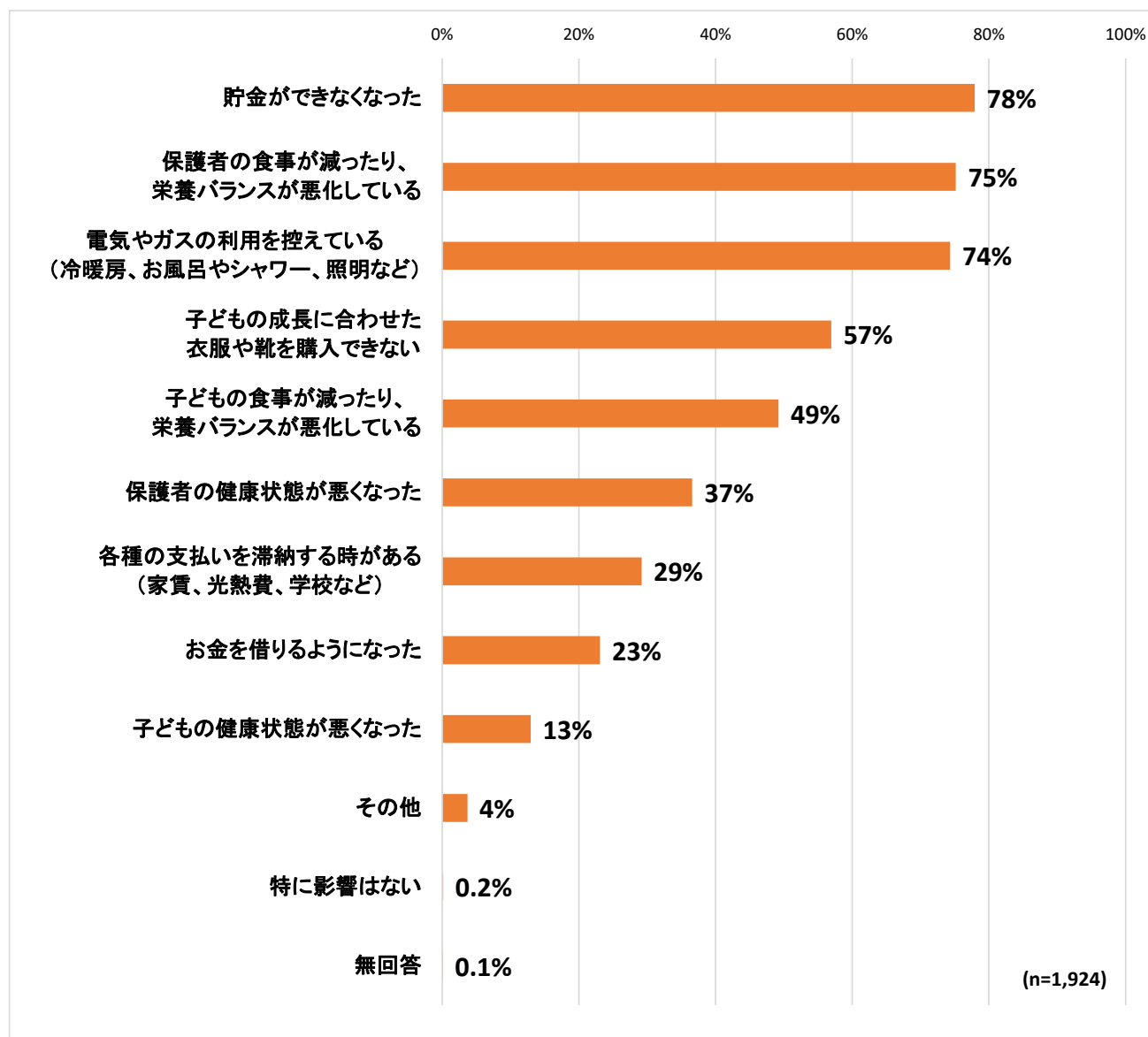


図 14 物価高騰の生活や家計への影響（複数回答）

(2) クロス集計（世帯所得別、子どもの人数別）

世帯所得別では、所得が低いグループほど、自身の家庭の経済状況に対する認識は悪く、物価高騰の影響も深刻であることが分かった。

世帯所得別に見ると、コロナ禍以降、経済的に苦しい状況が続いているか、自身の家庭は子育て家庭の中でも生活が苦しい方だと思うかという 2 つの質問に対して、所得の低いグループほど「とても思う」との回答が多くなっている。

物価高騰の生活や家計への影響でも、ほとんどの項目で所得の低いグループほど回答割合が高いとの結果が得られた（「各種の支払いを滞納する時がある（家賃、光熱費、学校など）」と「お金を借りるようになった」を除く）。最も所得の低い「所得 100 万円未満」では、保護者の健康状態の悪化は約半数、子どもの健康状態の悪化は約 2 割と、健康への影響の広がりも懸念される。一方で、「所得 300 万円以上」でも、保護者の食事や電気・ガスの利用に影響が出ているとの回答は 6 割を超えており、物価高騰の生活への影響は、どの所得のグループにも広がっていることがうかがえる。

扶養している子どもの人数別では、子どもの人数が多いほど、子どもの衣食の確保や家計のやりくりに影響が出ていることが分かった。子どもの衣食についての項目（「子どもの成長に合わせた衣服や靴を購入できない」、「子どもの食事が減ったり、栄養バランスが悪化している」）では、子どもの人数が多いほど回答割合が高い。また、「各種の支払いを滞納する時がある（家賃、光熱費、学校など）」と「お金を借りるようになった」では、子どもの数が「1 人」と「2 人」では回答割合に大きな差がないのに対し、「3 人以上」になると回答割合が 10 ポイント以上上昇するという結果が得られた。

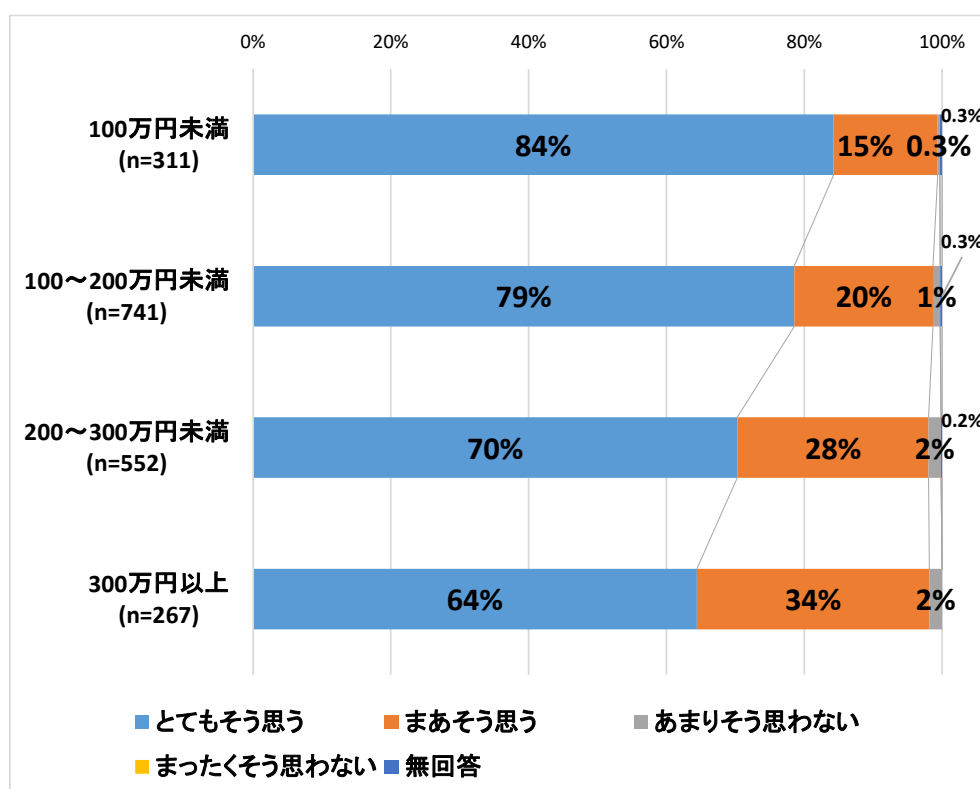


図 15 【世帯所得別】 コロナ禍以降、経済的に苦しい状況が続いているか

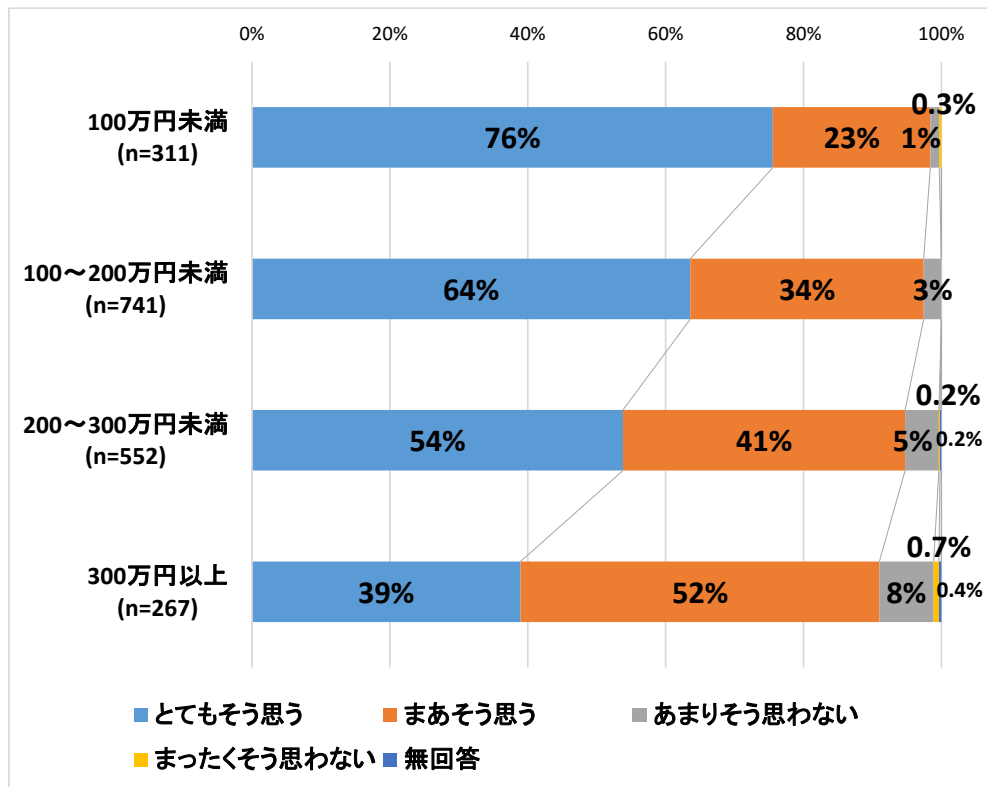


図 16 【世帯所得別】自身の家庭は子育て家庭の中でも生活が苦しい方か

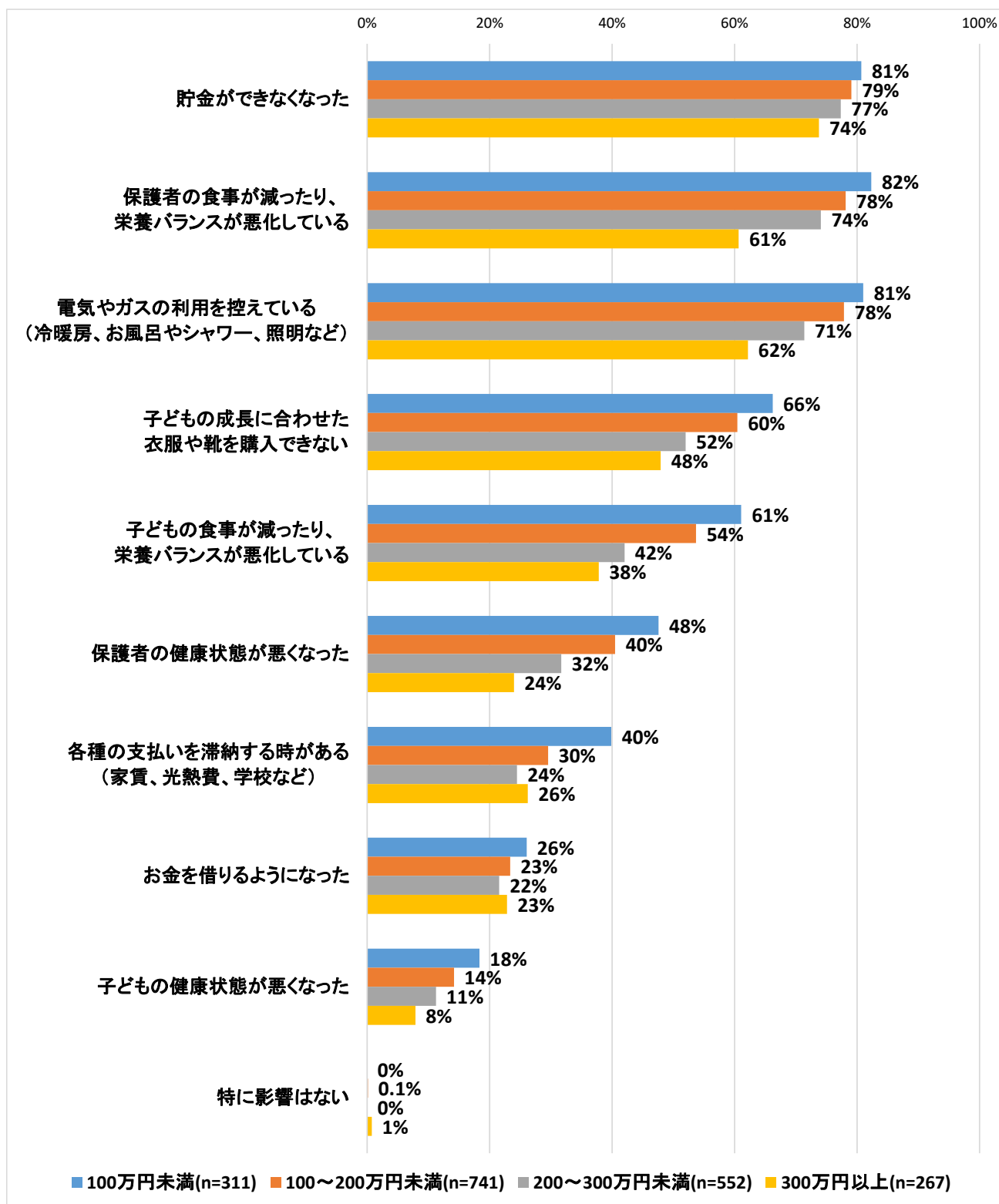


図 17 【世帯所得別】物価高騰の生活や家計への影響（複数回答）

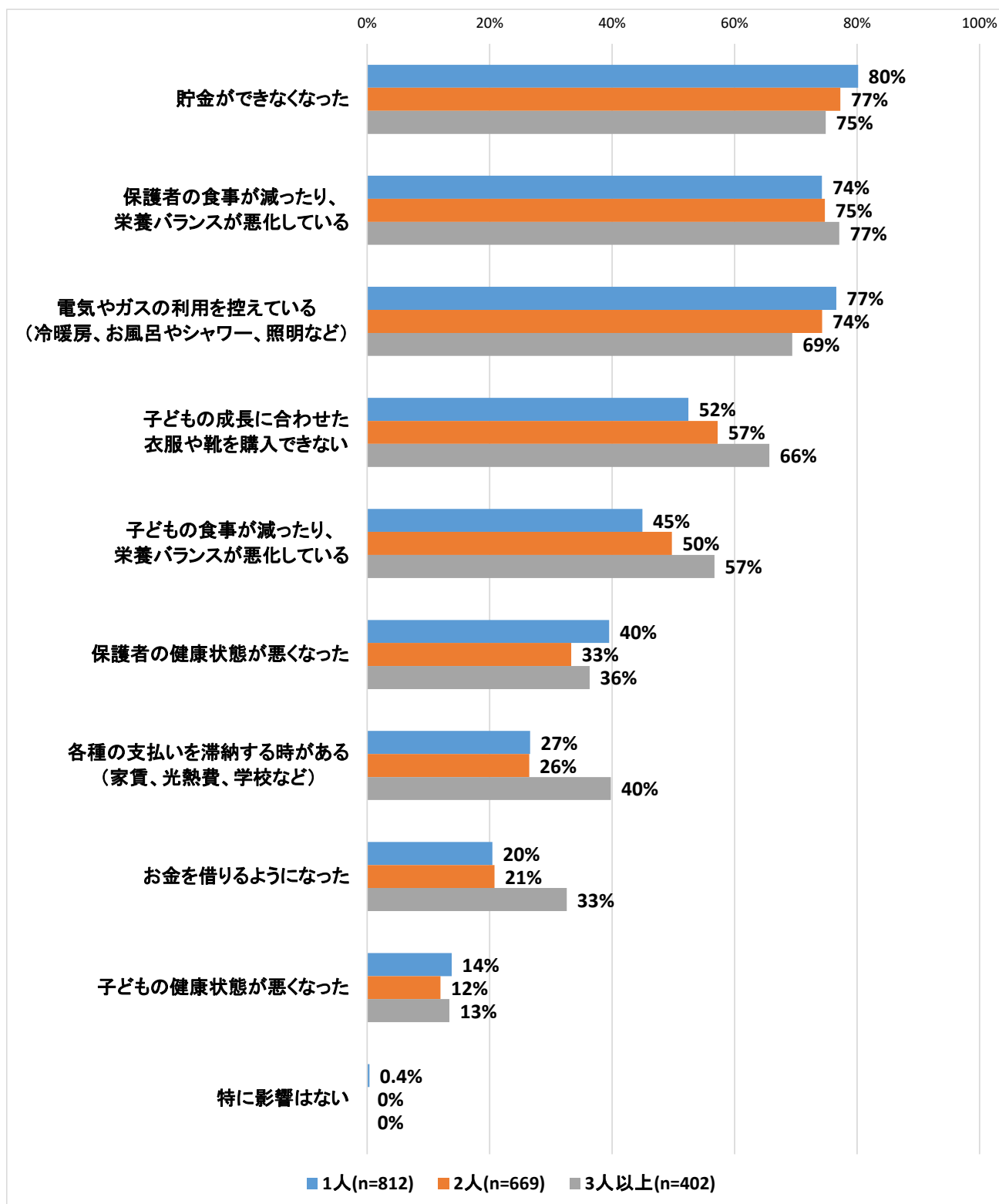


図 18 【扶養の子どもの人数別】物価高騰の生活や家計への影響（複数回答）

(3) 物価高騰下における生活の困りごと

回答者からは、物価高騰が続く中で生活について、経済的な苦しさ、食料品や日用品の不足、光熱費の不安といった様々な回答が寄せられている。物価が上がっても、コロナ禍以降、収入はあまり増えてい

ない、以前と同じように働いても生活が苦しくなっていく、学費を払えていない、これ以上借入もできないなど、追い詰められ、希望の持てない状態の家庭が多く存在する。

お米をはじめ食料品の値上がりも深刻な打撃となっている。食料品にお金をかけられず、子どもの低身長や保護者の貧血につながっている、食べ盛りの子どもの我慢をさせているといった声があり、食料支援を希望する回答が非常に多く寄せられた。冬に向けて光熱費の増加を懸念する家庭も多く、暖房をつけずに厚着をして過ごす、お風呂の回数を減らすといった回答があった。電気代や灯油代についても何らかの支援を求める声が多く寄せられた。

表 1 現在の困りごと ～物価高騰下における生活～
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **生活全般の苦しさ**

- ・ 物価高の影響等で全体的に出費が多くなっていますが、収入はコロナ禍からあまり増えていないので、毎月のやりくりがいっぱい입니다。
- ・ コロナの時期から今に至る迄、ずっと生活が苦しい。真面目に働いていても時給は上がりず、物価と保険料が上がり、余裕が無くいつもお金の心配をする事に疲れた。国や自治体から現金給付や児童扶養手当の増額など、すぐに生活が楽になる支援があれば良いと思う。
- ・ 困っているのは、物価高です。物価が1.5から2倍になったにもかかわらず、私のパートの時給は50円アップしただけです。以前と同じように働いていますが、とても生活が苦しくなりました。1000円以内に済ませようと最低限の買い物をスーパーでも、1500円や2000円になります。塵も積もればで、月末に困窮します。生きていくのが精一杯。子どもたちが大きくなるまで頑張ろうと思っていますが、疲労と睡眠不足で、時々全てを投げ出したくなる瞬間があります。
- ・ 年末年始は冬休みもあり食費、光熱費も倍になるので今の収入だけでは足りなく仕事を増やすにしても夜間子供を置いて仕事に行く事もできずどうしたらいいのか困っています。食料支援をしてくださる所もなかなかなく借入もう限度額いっぱい입니다ので1日の食事や量を減らさなくちゃなと思っています。
- ・ 育ち盛りの子どもが3人居るが、食費や生活費が足りない。常に赤字で借金が増えており、片親のため断われてもう借りる事ができる機関が無い。子どもは勉強も運動もやる気が有るのに貧困のために制限されるのは可哀想だ。子どもの為に借金を繰り返している。
- ・ 5人子供がおり、さまざまなお金がかかるもの全てにおいて困っています。学費も数ヶ月払えていなく、待ってもらったりしています。食費にも結構かかり、日用品も人数が多い分、消費が早く、水道、ガス電気などの金額も高くなるのでとにかく全体的に困っています。
- ・ 契約で働いています。有難い事に少しずつ基本給は上がっていますが、収入より支出が多く(物価高で)貯金を崩して生活してる状況で将来の事を考えて貯金をしたくても出来ていません。子供も来年は中学生となり制服や体育着等々、購入出来るのか不安で仕方ありません。自分の将来への備えも出来ない毎日・毎月を何とか生活している状況はハッキリ言うところ心配・不安・希望が持てないです(悲観的になる事が多くなってしまいました)。

➤ **食事への影響**

- ・ 食料品の高騰が続き、食事も満足なものを出せていない。
- ・ 米が高いです。せめて米だけでもあれば生活がラクになるのと思います。
- ・ 成長するにつれ食べる量が増えてきてお米も高くなるのでなかなか買えなくなってきて、食料が毎月不安になります。

- ・ 食べ盛りの子供にお肉や魚、野菜なども満足に買えず、子供も成長が不安です。
- ・ 食費が高くてこどもの栄養が心配です。2人育てていますが、2人とも低身長で、通院するほどです。でも食費にけるお金がありません。
- ・ 食費が高くなる一方で困っています。子どもは食べざかりで、お腹いっぱいにしてあげたいので、自分が食べる分をセーブするしか方法がありません。貧血状態が続いていますが、病院に行ったら薬をもらい続けることになると思うので、なかなか病院にも行けません。
- ・ 今は以前買った備蓄米がまだあるのですが、もう少しで無くなりそうです。お店で毎日お米の値段を見ていて、備蓄米が終わったらこの高いお米を買わないといけないうと不安です。私ぐらいの収入の他の方方はどうされているのでしょうか？家は男の子二人で毎日お弁当を作るので五キロのお米が一週間もちません。不安です。
- ・ お米や牛乳券ではなく食料品の支援が欲しいです。野菜や果物も食べさせてあげたいです。納豆ですら高くなり栄養バランスが保てません。
- ・ とにかくお米が欲しいです。給食がないことで食費光熱費がとても高くなるのでお米でも食材でもたべられるものが欲しいです。
- ・ 子供が多い分、充分なおかずを用意してあげられない日が時々ある。一人一人に一人前のおかずを食べさせてあげたい。まだまだお米がとても高いので備蓄米の販売をこれからも可能な限り販売して欲しい。来年から高校生になる子がいるからお弁当になるので食費がさらに嵩むと思うので少し不安はあります。
- ・ 寒くなると光熱費が上がるので…食費が1番削れるので……そうすると、年末年始に食べる物が買えるのかな…って思っています。離婚する時に『お母さんと暮らすと食べる事しかしてあげられないよ、それでも来てくれるの？』と言いましたが、それすらしてあげられない自分が嫌です。高校生で楽しい時代なのに、私は息子に我慢ばかりさせてしまってて苦しいです。
- ・ 毎月お米の支援がありましたら助かります。高校生はお弁当が必要で、来年から我が家は高校生が2人になりお弁当代がかさみます。お米があれば、おかずがなくてもおにぎりだけ持たせられます。本年2月より休職しており、以前と比較して安定した収入が得られておりません。そのため、特に食糧のご支援をいただけると幸いです。
- ・ 物価高騰と消費税などで、どんなに節約しても必要な食品も買えません。食料支援があると有り難いです。
- ・ 食料品が高くなり、食べ盛りの子供に我慢をさせてしまってます。何も食べる物が無い、お腹減ったが口癖のようになっており情けない気持ちでいっぱいです。困っているのは子育て家庭だけではありませんが支援をお願いしたいです。声を届けてください。
- ・ 物価高騰で何もかもが高くなって、節約して頑張ってももう削るところがないんじゃないかと思うくらい生活が苦しいです。子供達は食べ盛りで食べても食べてもお腹がすくみたいで、お腹いっぱい食べさせてやりたいけどそうもいかず、給食をおかわりできたらしてみたいですが、部活が終わるとまたすぐにお腹がすいてしまいます。成長期の子供達がお腹いっぱい食べられるように食料品やお米クーポンをぜひ配布して欲しいです。
- ・ 物価高騰が続いているので、食料品等の支給を抽選ではなく、登録している全世帯に提供して頂ければ幸いです。
- ・ 最近フードバンクも抽選制になり過去に1度でも当選したことがある人は対象外が当たり前で、こちらは何も生活が変わらないし悪化していく一方なのに支援がどんどんなくなってしまって苦しい。
- ・ 物価高でなにもかもがビックリするくらい値上がりしていて贅沢してないのに食費上がってもうこれ以上節約しようがない。食料支援も抽選とかも多いので外れたらもらえない。直

接もらいに行く系も住んでる場所遠い近くではない行ける時間じゃない。子供食堂も先着数名と人数も前に比べたらだいぶ減っていて間に合わないと子供が行きたがらない。もうちょっとハードル低く支援が受けられたらいいと思います。

- ・ 支援を必要としている家庭が増えているので前よりさらに食料支援も少なくなりとても不安に思っています。

➤ 光熱費についての不安

- ・ ガス代、灯油代がかかり、お風呂の回数を減らしたり、部屋の設定温度を 18 度以下にしています。
- ・ 今度は暖房代がまたかかることになるので頭が痛い。寒いのを我慢させて暖房つけず風邪ひかせるわけにはいかずで、灯油代や電気代の補助が欲しくなります。
- ・ 寒くなってきて光熱費の支払いが高いです。でも、子供も保育園で風邪をもらってきたり寒暖差で体調を崩したりしているので暖房などを使わないわけにはいかず、家賃補助や光熱費の支援があるととても助かります。
- ・ 寒さ厳しい冬季がやってきました。寒冷地の冬は、多少の我慢程度ではありません。生命にかかわる寒さです。灯油もガソリン並みに高いです。燃料費が切実に辛く、重く家計にのし掛かっています。
- ・ 夏もそうでしたが、冷暖房費が心配です。休みの間は、子供達が家にいるので、使用料が増えます。非課税世帯には、毎年、年 2 回、光熱費の助成金があると助かる。
- ・ 去年の冬は電気代が高く、暖房をつけずに過ごしました。お湯も電気なのでシャワーだけにした。お湯を張るときはみんなと一緒に入ったりしましたが、年齢的にも一緒に入る年齢ではなくなってきたので…夏は電気の補助があったが、冬は毎年ないので冬を電気代の補助が出て欲しいです。そうしたら暖かい部屋で子供達が過ごせるかなと思いました。ガスの補助は都市ガスでプロパンの人は何も安くなりませんでした。そこも考えて欲しいなと思います。
- ・ 光熱費がおそろしいです。年末年始は会社が休みになります、子どもの預け先がないので毎年年末年始は子どもと過ごします。楽しく有意義で休める時間ですが、収入がないところに、自宅にいる時間が長いので光熱費が毎年すごいです。冬は本当に寒いので我慢させるわけにはいかないです、体調不良になってしまいます。灯油の券や電気代の割引や補助などがあれば本当に嬉しいです。
- ・ 暖房は離婚してから使ったことがないです…。春になるまで申し訳ないけど厚着したりして過ごします。
- ・ 寒いのが節約のため暖房器具をつけていなく、しもやけがひどいので、暖を取りたいです。
- ・ 暖房費もかかるが、電気は一ヶ所だけしかつけない生活、物価高なのにどうやって暮らしたらいいかわからない。
- ・ 昨今の猛暑で光熱費高騰ニュースで冬も寝ている時に部屋温度が 18 度になるよう暖房はつけたままの方が良いと言っていたが、そんな事をすれば生活が成り立たない。
- ・ エアコンや暖房器具が無いので、これからの季節体調崩さないか心配です。

➤ 日用品や衣類等の不足

- ・ 日用品の支援が欲しい。食品の支援をいただける団体が多くありがたいが、トイレットペーパーや生理用品、石鹸などの日用品にかかるお金も大きな負担である。
- ・ 食材がもらえてありがたいのですが中学生女子 2 人いるのでシャンプーやナプキンや洗顔などの日用品もいただくととても助かります。

- ・ 物価高騰でトイレットペーパーさえ買えず本当に困っています。政府の皆さま国民の貧困に目を向けてください。
- ・ こどもの成長が早く、靴や服の購入が追いつかない。
- ・ 子供の衣類や色んなものが高騰していて毎年買い換えるのが大変です。なにか現物支給なり、クーポンとか他に支援があれば嬉しいです
- ・ 中学生ともなると普段着のサイズが去年の物が着れなくなってきたので、冬物の購入費用がかかる事です。トレーナーや上着、下着や、靴下など…支援をしていただけると幸いです。
- ・ 北国なので冬靴や冬服の購入しなくてはならないので毎日、悩んでいます。
- ・ 冬の温かい下着やパジャマなどが毎年買えずにいてもう 5 年ほど使い続けて生地が薄くなっています。
- ・ ノートやシャーペンなどの文房具の支援や、本を読むのが好きなのですが、小説などの支援があったらとてもありがたいです。
- ・ 子どもは運動やプリント学習が大好きです。そのため、衣類や靴、鉛筆や消しゴムなどの子どもが使う日用品の支援もあると子どもが伸び伸び活動できるので嬉しいです。
- ・ 移動の唯一手段の自転車が取られた。高くても買えない。あんなに放置自転車はあるのに。中古自転車を譲るような制度があったらうれしい。

3.2.2 政府の取組について

物価高騰に対して、政府は困窮子育て家庭の支援に取り組んでいるかとの質問に対しては、「あまりそう思わない」(50%) が半数と最多であり、「まったくそう思わない」(35%) が続くなど、大多数の回答者は、政府の取組が十分ではないと考えていることが分かった。グラフは掲載していないが、所得に関わらず、政府の取組に対する否定的な回答（「あまりそう思わない」または「まったくそう思わない」）は8割を超えた。

物価が高騰する中で、子育て家庭が十分な食事を摂れるように政府に希望する対策としては、「現金給付をする」(72%) が圧倒的に多く、7割を超えた。2位以降は、「食料品の消費税率を下げるまたはゼロにする」(35%)、「食料品クーポンを配布する」(30%)、「お米やお米券を配布する」(28%) が続いた。「特に希望する取組はない」(0.2%) は1%を下回った。世帯所得別では、所得が低いグループほど「現金給付をする」の回答割合が高いという結果であった。

各対策を希望する理由を自由記述で尋ねたところ、現金給付では、とにかく現金がない、食料品以外にも光熱費や進学費用など家庭の状況に応じて様々な用途に使うことができるといった声が多く寄せられた。現金でしか支払えない場合がある、ふだんからお金を使わないため減税では効果を感じにくいといった意見もあった。食料品の消費税減税については、食料品購入に必要なお金を少しでも減らしたい、現金給付よりも長期的な対策になる、全国民に平等といった理由が挙げられた。

お米を含む食料品のクーポンや現物支給では、確実に食料品の購入に使用されるという意見が多く見られた。お米を低価格で買えるようにするを選んだ理由では、主食であるお米の価格が高すぎて大変な状況、お米券よりも継続的な対策になるといった声が寄せられた。地域のこども食堂やフードパントリーの充実については、利用しやすくなしてほしい、周囲の人との交流の場がほしいといった回答があった。

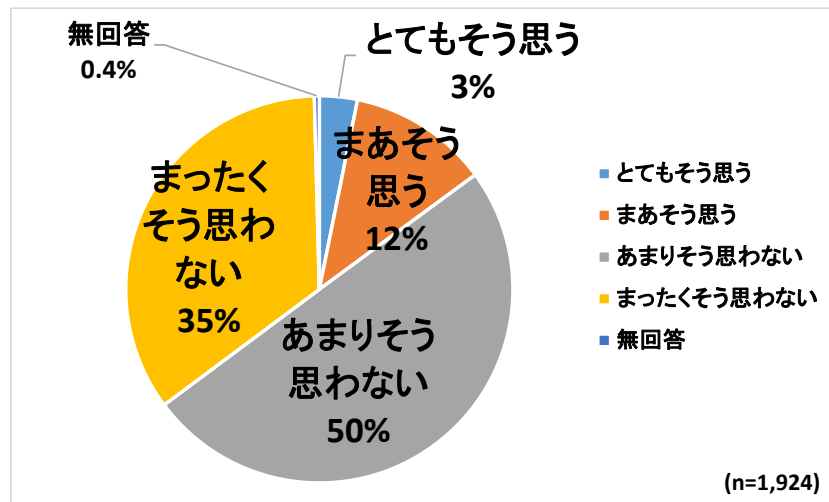


図 19 物価高騰に対して、政府は困窮子育て家庭の支援に取り組んでいるか

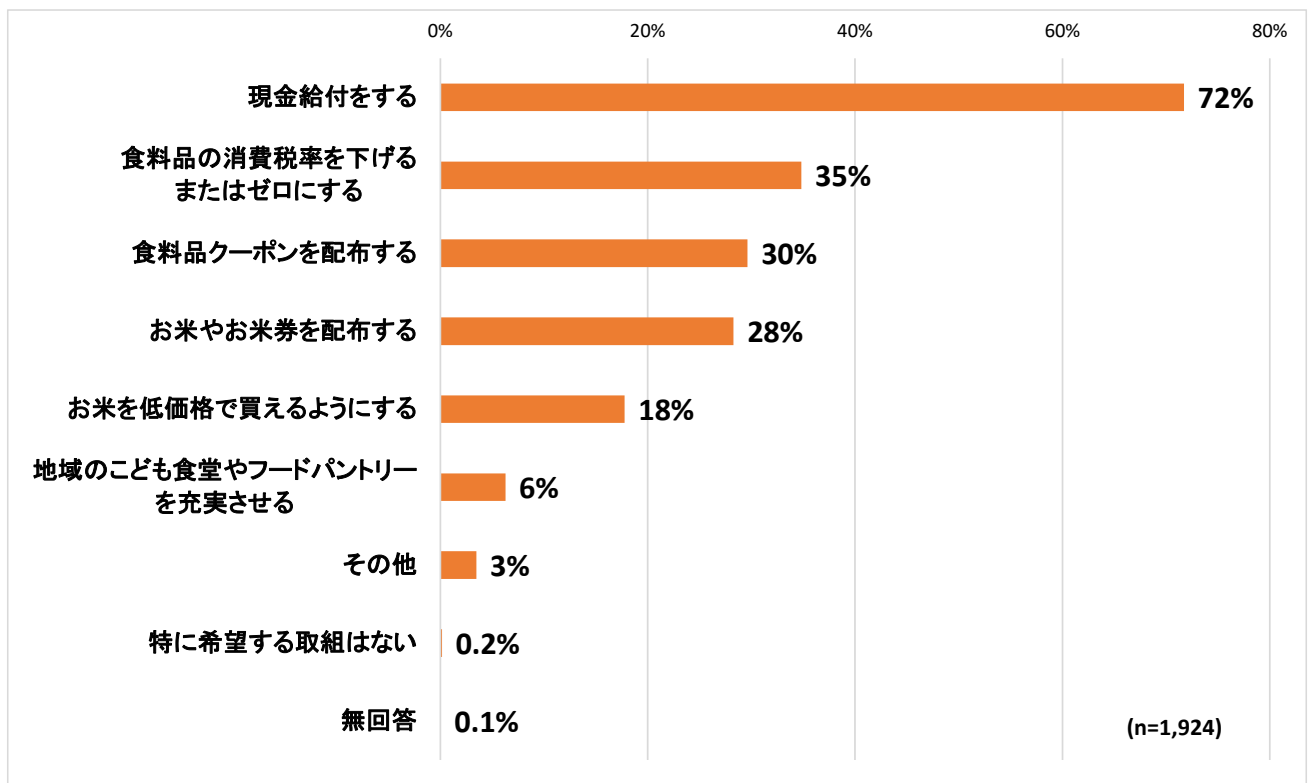


図 20 物価高騰下、子育て家庭が十分な食事を摂るために政府に希望する対策
(最大2項目までの複数回答)

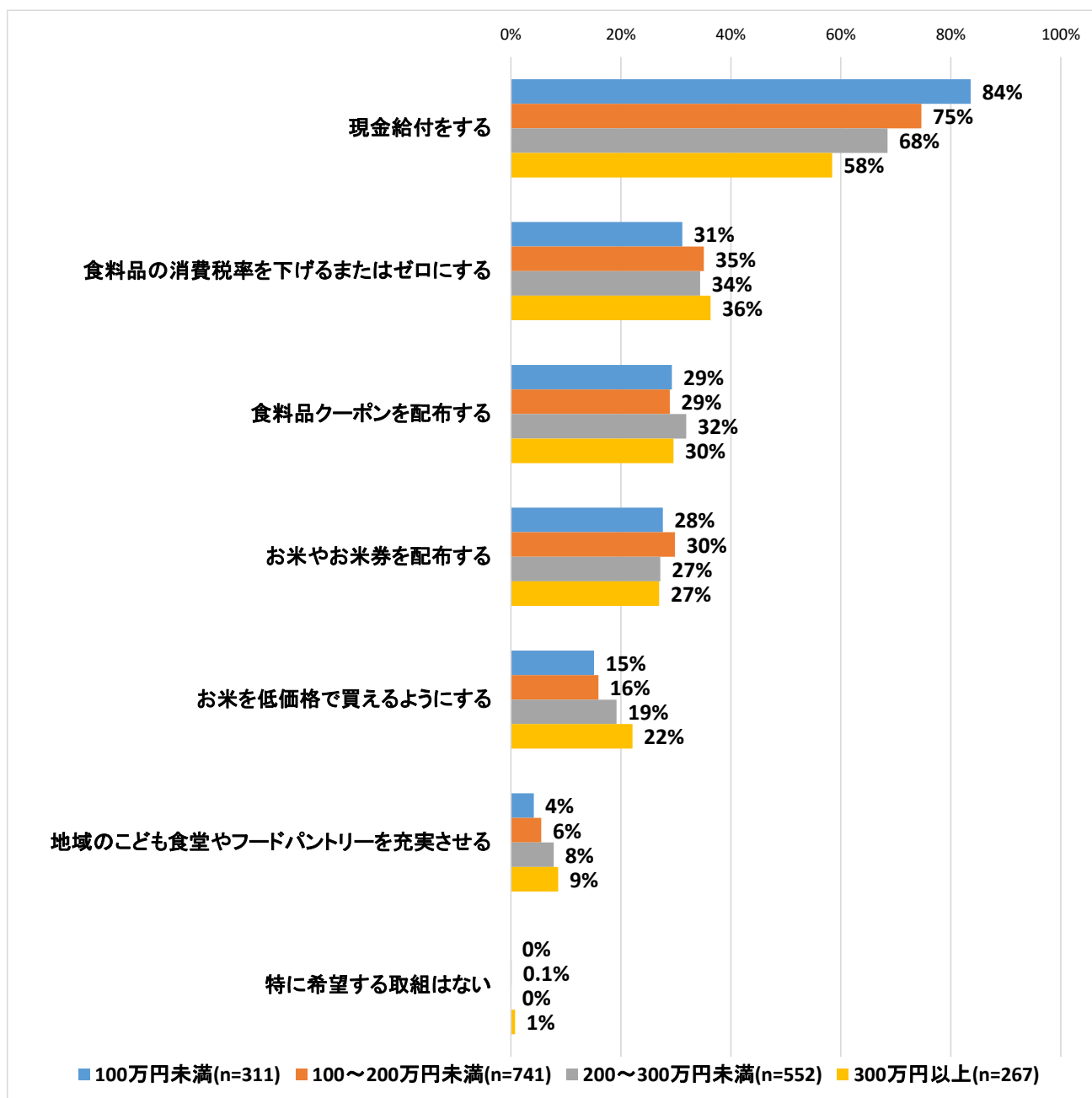


図 21 【世帯所得別】物価高騰下、子育て家庭が十分な食事を摂るために政府に希望する対策
(最大2項目までの複数回答)

表 2 それぞれの対策を希望する理由
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- **現金給付をする**
- ・ 貯金も無く、生活保護で家賃と光熱費を支払ったら手元に全く残らないので、食べるものすら買えないこともあるから。
 - ・ 今はとにかく現金がないので現金給付して欲しい。年末頃に現金給付があるかと思ったら無くなったのが地獄だと思った。食料品もあれもこれもと買うと塵も積もれば山となる…借金山になりそう。
 - ・ 現金がなければ支払いも買い物もできない。現金給付はやめましたと聞いたときには、この

先の生活の不安でいっぱいになりました。なにせ子供にかかる最低限のお金だけでも物価高もあり、あっという間に万札がなくなっていくます。シングルマザーは現金給付が必要です。もう一度、政府に現金給付を考えて頂きたいです。

- ・ 全く貯金が出来なくて、食べることに困ってるので、現金給付を望みます。
- ・ 貯金に回せなくなっているだけでなく、進学資金教育資金として貯金してきたものに手を付けなければ生活できない状況になっているから。
- ・ お金だとその時困っているものに使えるから。食に困っている時もあれば、日々の支払いがきつい時もあるから。
- ・ 食料も買いたいけど、光熱費も高いのでどちらにも使える現金給付がありがたい。
- ・ 全てにおいて物価はものすごい勢いで上がっているのに、収入は増えない。もう、切り詰める所がない。とにかく、現金が足りない。食材だけでなく、冬を迎えるにあたり、子ども下着すら買えないので何にでも使える現金の給付が1番助かります。
- ・ 子供二人が受験なので、これから制服の購入や入学金をどう捻出しようか悩んでいる。現金給付してもらえると食費だけでなく、これから必要な購入品にもあてられるので有難い。
- ・ クーポンや引換え券みたいな物をもっても、使える所が家から遠かったり、引換えできる物が限定されていて、それ必要のないものだった時には使わないので、現金の方が良い。借金の返済に回したい。
- ・ クーポンでもありがたいけど現金のほうが気持ちに余裕ができるから。減税は普段あまりお金使えないから効果が感じられるかわからない。
- ・ 1番生活に直結するものだと思います。税金などが安くなっても入ってくるお金が無かったり少ないと買いたくても買うことが出来なかったりするから。
- ・ クーポン等では使えるお店が限定されたり、ネットスーパーでは使えない等、利用が制限されてしまいます。ひとり親家庭は仕事と育児に追われ、クーポンが使える店舗を探したり赴く時間も余裕ありません。確実なのが現金給付。
- ・ 安い価格設定の店は現金のみであったりクーポンの対応をしていないことがあり、店を問わずどこでも使える現金は助かる。
- ・ 現金でしか買えない場所が多々あったり支払いが出来ず滞納することもあるので現金をいただけるとすごく助かります。
- ・ 自治体での集金、通学用自転車の修理代、部活動合宿費等、現金支払いしか出来ないものもまだ多く、またその際に数千円～数万円の支払いとなるものも多いため。その様な支払いが続いてしまった後には決まって食費にも困るため。
- ・ 対策を実行するまでに一番時間がかからなそうだから。

➤ **食料品の消費税率を下げるまたはゼロにする**

- ・ とにかく食品は必要なのに、物価高騰で食費しか削れる部分がなく、食品を買えないことがあります。食品が買えるように消費税を無くしてほしいです。
- ・ 消費税は所得の低い人であればあるほど生活に響く税だと思うので。
- ・ 食料品は必ず必要なものです。物価高が続く中、消費税までかかるのは本当に辛いです。
- ・ 生活に絶対必要な食事を摂りたくても食品が高いため、どうしても買い渋りをしてしまいます。食品だけでも消費税率を下げてほしいです。
- ・ 家計が苦しくなった時、支出を抑える手段として食べ物を減らすことが1番多いかと思います。食料品の税が下がる又はゼロになれば食料品を減らす事も少なくなるのではないかと思います。
- ・ お米とか食料品を買うなら現金給付が望ましい。でも、それより消費税率をなしにしてくれ

たら長い目で見たらありがたい。

- ・ クーポンや現金給付では期限があったり使い切ったら終わってしまうので、継続的な対策として消費税を下げたり、買いやすい価格にしたりして欲しいと思うからです。
- ・ 現金給付は一時的な対処法にしかならず、クーポンにしてしまうと作成費がかかるので。貧困家庭だけでなく、日本国民全員が実感できる方法だと思う。
- ・ 消費税がかからないのは、全国民に平等で良いと思う。
- ・ 何か低所得者の政策をする度に、低所得者へ対する批判を世間から感じ取れるため、誰もが対象の消費税の政策がいいと思った。

➤ **食料品クーポンを配布する、お米やお米券を配布する**

- ・ 子供にはお腹いっぱい食べさせてあげたい。米や野菜、肉や魚の高騰で買い控えの日々のため、食料引換券はとてもありがたいです。
- ・ とにかくお米がすぐなくなるので、お米を買うのが大変になってきました。クーポンがあればいいと思います。
- ・ 現金で給付を頂くと、別なものに回したほうがよいのではと思って、食費に使わないでしまいそうだから。食費を削ってしまいがちだから。
- ・ 食事を摂れるようになるので、現金給付だと他にあてる人がいると思う。食料品クーポンやお米券だとちゃんと主旨にあっているから。
- ・ 最低限の生活に必要な物を必要な分だけ換金等できない形で渡して欲しい。お金はありがたいが使う先があり過ぎてそれこそ、食物等が最後にきてしまう。配給制度が一番子ども達にダイレクトに届くと思う。
- ・ 現金はよく分からないうちに無くなるし地域によって物価が違うので決まった分量の品物が貰える方が有難いです。
- ・ 現金でもらっても値上げされるので、確実に引き換えできるクーポンが良いです。
- ・ 現金はありがたいが買い物に行くための手段（公共交通機関やガソリン代）も値上がりしているので現金給付より現物支給のほうがありがたい。
- ・ 現金給付は何にでも使えて便利だが、世間から批判がでると思うので、お米や食料品にのみ使えるクーポンを配布して頂けたらとても助かります。

➤ **お米を低価格で買えるようにする**

- ・ お米が高すぎて、本当に大変なので、安くなって欲しい。
- ・ お米の価格が、下がらない。主食なのに、購入を控えないと行けないのはおかしい。子供達は、いつもお腹を空かせています。
- ・ 安値で販売されているという古米も、近所のスーパーなどではほとんど見かけず、お米を購入するのにとても勇気が必要だから。食事の主食がパスタやうどん、焼きそばなどになり、栄養の偏りを感じている。
- ・ 以前は「お米があればなんとかなる」と思っていたんですが、ほぼ倍の価格になり気軽に買えるものではなくなったので。
- ・ 食べ盛りの男子がいます。腹持ちするのは米ですが、高く買い控えています。子供達にごはんを食べてもらいたいから、母は控えています。たまにフラフラになります。お米が買いやすい値段になる事を強く望みます。
- ・ 先ずはお米を以前と同程度の価格にしてもらいたい。それだけでどうにか出来る。
- ・ クーポンではその1回しか使えないので、主食のお米は低価格で買えるようにしてほしい。
- ・ お米現物やお米券もありがたいですが、そのときだけになるので継続的にお米が無理のない

範囲の値段になると非常に嬉しい。お米は学校のお弁当で毎日必要なのでお米の高騰は本当に死活問題なので。

➤ **地域のこども食堂やフードパントリーを充実させる**

- ・ 私の地域にもひとり親向けに食品支援を行っている団体があり、利用させてもらっているが、先着制なので支援を受けたくても受けられない人がたくさんいる。なので、行政の方でもみんなにいきわたる支援をしてほしいと市の方に要望を出しても応えてくれないのが現状です。
- ・ こども食堂を学校帰りに利用させてもらっている。ほんとうに腹ペコな学校帰りのこどもがいっぱいでありがたい。月一なので、週一くらいしていただけたら本当にありがたい。
- ・ 地域の子ども食堂やパントリーは、市内にはありますが、住んでいる地域にはありません。なかなか気軽に行くことが出来ないのも、もっと場所も増えて開催日なども増えたら助かると思いました。
- ・ とにかくシングル家庭は何でも1人。ご飯を作るだけでもぐったり。誰かに話も聞いてもらえない。話を聞いてもらいながら、ご飯をいただける。そんな場がないと心身親子で壊れてしまう。
- ・ 周りに頼れる身内がおらず、地域のコミュニティがもっと増えれば良いなと考えたため。

3.2.3 年末年始の過ごし方

(1) 年末年始に向けて家庭で用意するもの

クリスマスやお正月など年末年始のイベントに向けて、多くの家庭が必要なものが用意できない状況にある。年末年始に向けて家庭で用意するものを尋ねた結果、「お正月のお餅や年越しそば」、「クリスマスケーキ」、「クリスマスやお正月の特別なごちそう」、「子どもへのクリスマスプレゼント」、「子どもへのお年玉」の5項目すべてで、「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」が最多であり、「用意する予定である」を大きく上回った。

「用意する予定である」が他の項目よりも高かった「子どもへのクリスマスプレゼント」でも、その割合は4割に満たず、「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」が約6割を占めている。「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」との回答は、「クリスマスケーキ」で7割超、「クリスマスやお正月の特別なごちそう」では8割超であった。

「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」との回答割合は、所得の低いグループほど高い。「所得 100 万円未満」では、「クリスマスやお正月の特別なごちそう」、「クリスマスケーキ」について、「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」との回答が約9割を占めた。一方で、「所得 300 万円以上」でも、「必要だと思うが、用意することが経済的に難しい」との回答は、「クリスマスケーキ」、「子どもへのクリスマスプレゼント」や「子どもへのお年玉」で半数程度、「クリスマスやお正月の特別なごちそう」で約8割であり、子どもたちの楽しみにするイベントに向けた準備が難しい家庭が多数となっている。

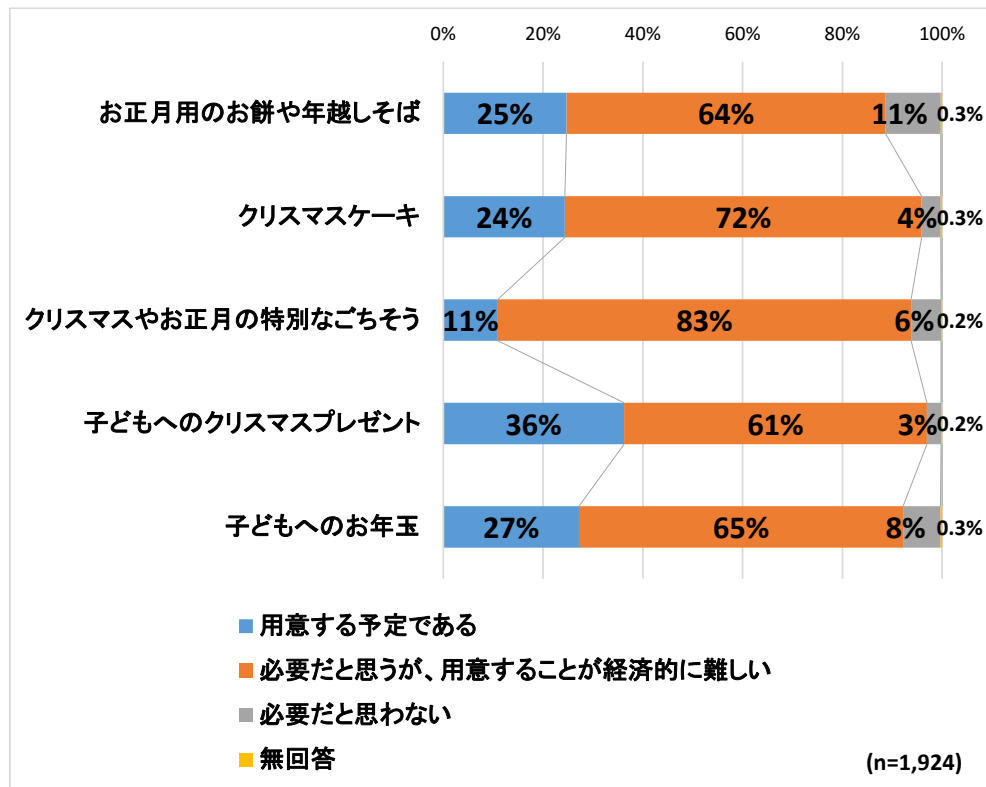


図 22 年末年始に向けて家庭で用意するもの

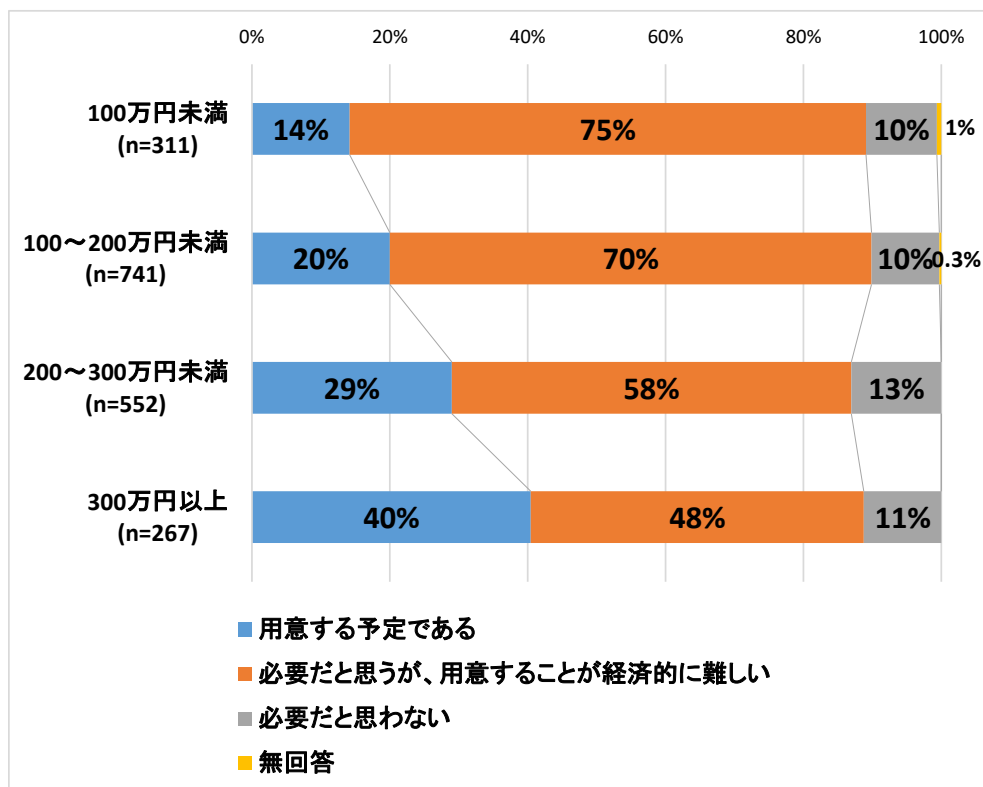


図 23 【世帯所得別】年末年始に向けて家庭で用意するもの お正月のお餅や年越しそば

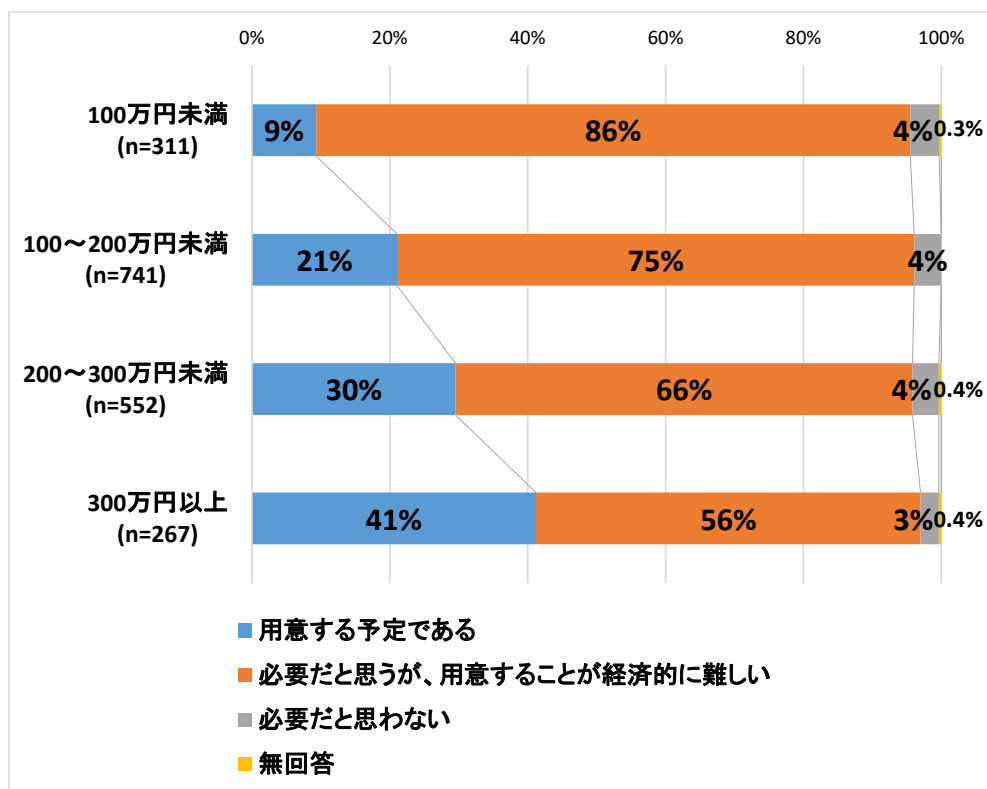


図 24 【世帯所得別】年末年始に向けて家庭で用意するもの クリスマスケーキ

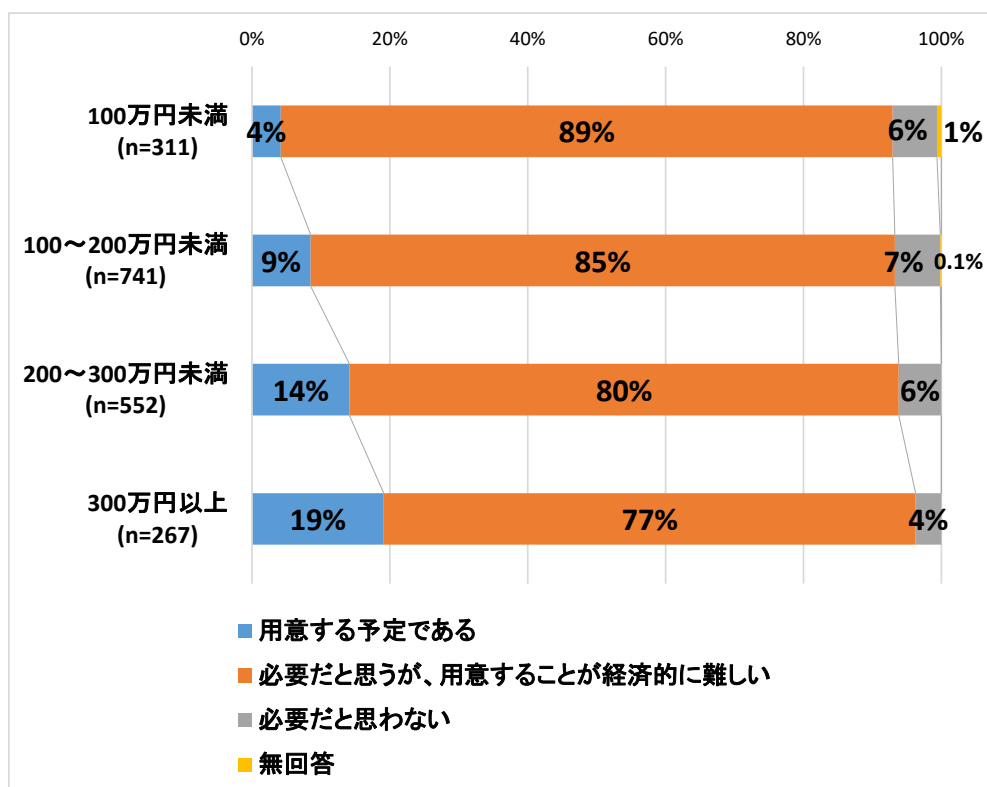


図 25 【世帯所得別】年末年始に向けて家庭で用意するもの クリスマスやお正月の特別なごちそう

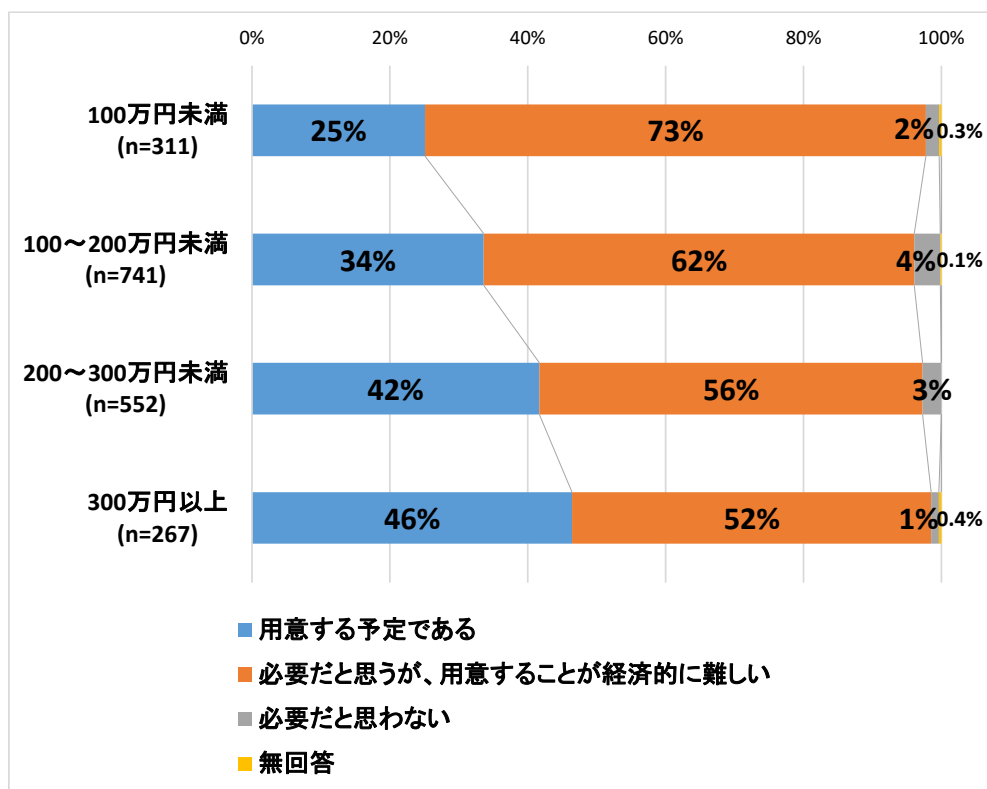


図 26 【世帯所得別】年末年始に向けて家庭で用意するもの 子どもへのクリスマスプレゼント

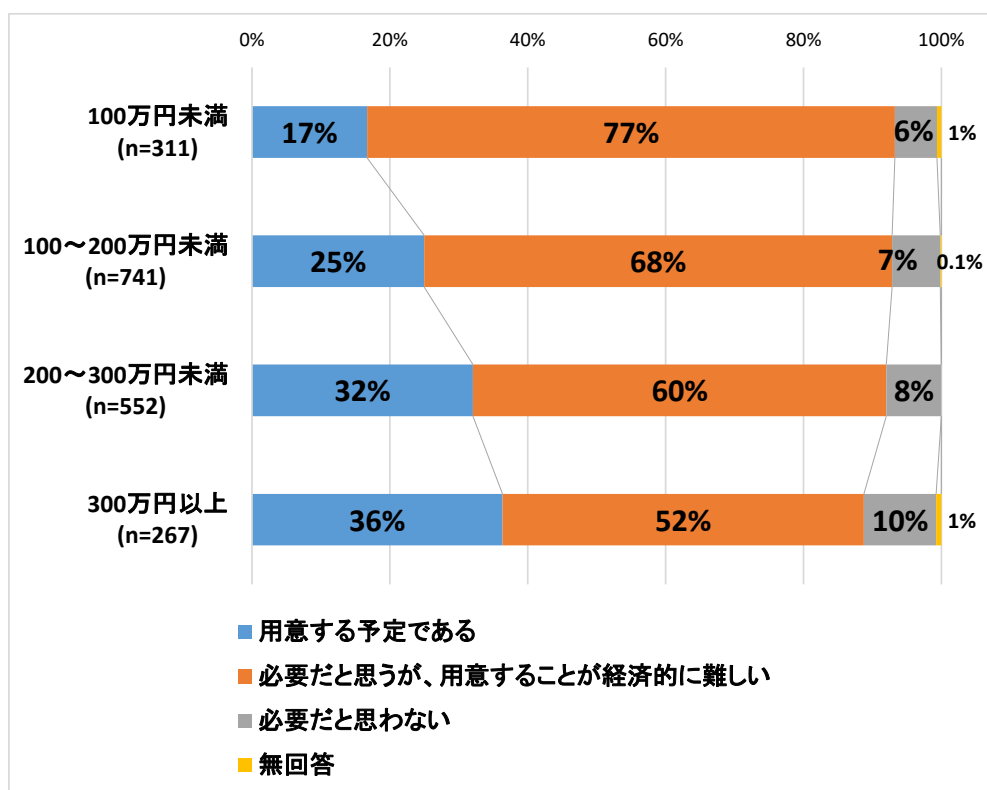


図 27 【世帯所得別】年末年始に向けて家庭で用意するもの 子どもへのお年玉

(2) 年末年始のイベントのための出費

クリスマスやお正月といった年末年始のイベントのために、どの程度の出費が増える予定かを尋ねた結果、「1万円未満」(28%)や「1～2万円未満」(25%)といった回答が多く、「0円(増えない)」(11%)も合わせると、2万円未満が約6割を占めた。

これらの出費の増加への対応としては、「貯金を崩す」(56%)との回答が最も多く、「保護者の仕事を増やす(シフトを増やす、副業や単発のアルバイトをするなど)」(35%)が続く。「その月の家計から工面できる」は1割に満たず、大多数の家庭で、ふだんの家計以外からのお金の工面が必要な状況となっている。

世帯所得別に見ると、所得の低いグループほど、年末年始のイベントのために増える出費も少なく、「所得100万円未満」では、「0円(増えない)」が21%となっている。出費の増加への対応としては、どの所得のグループでも、「貯金を崩す」が最多であり、「保護者の仕事を増やす(シフトを増やす、副業や単発のアルバイトをするなど)」が続いている。「その月の家計から工面できる」は、「所得300万円以上」でも11%にとどまった。

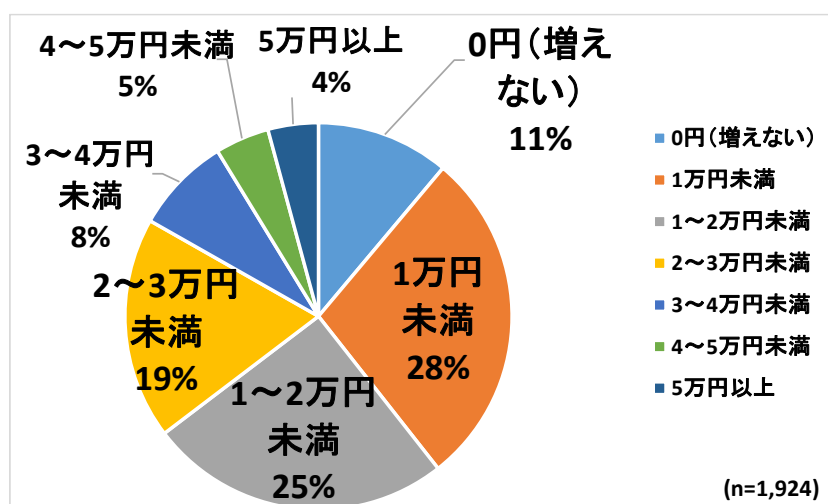


図 28 年末年始のイベントのためにどのくらいの出費が増える予定か

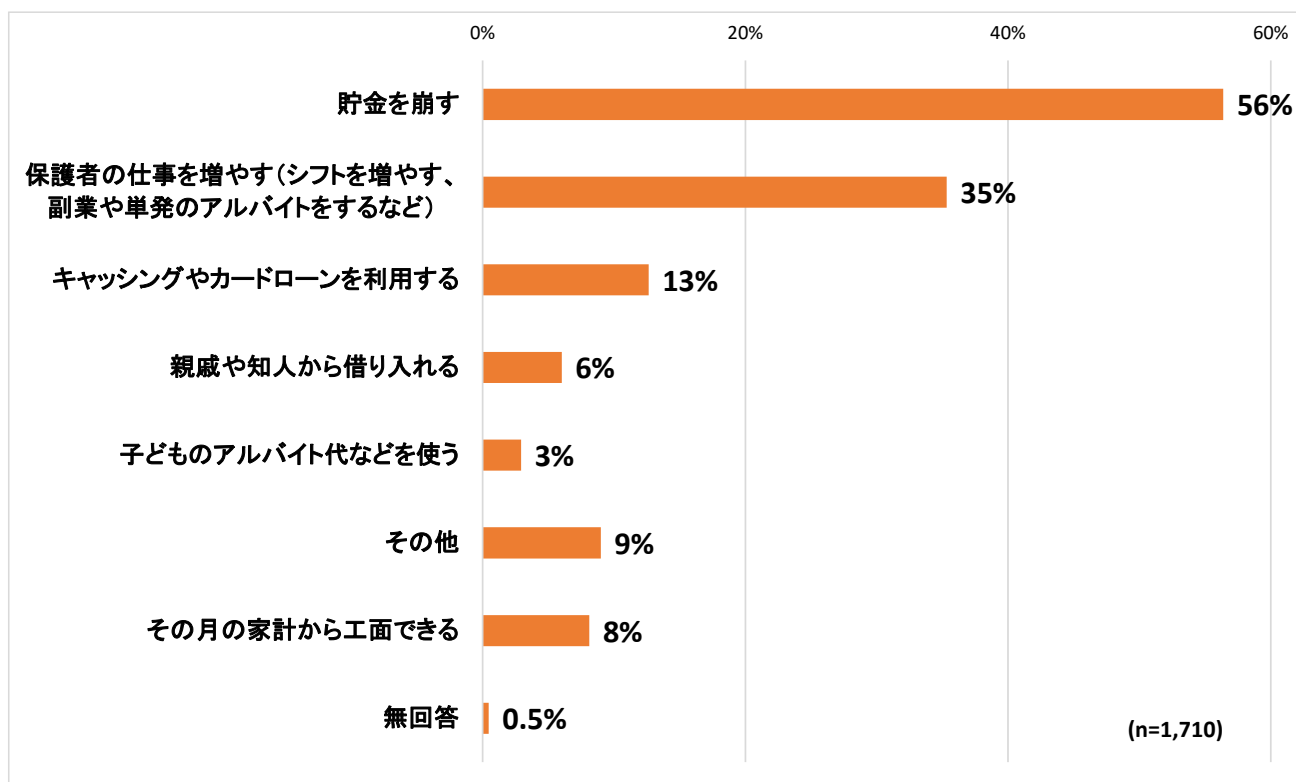


図 29 年末年始のイベントで増える出費を工面する方法（複数回答）¹

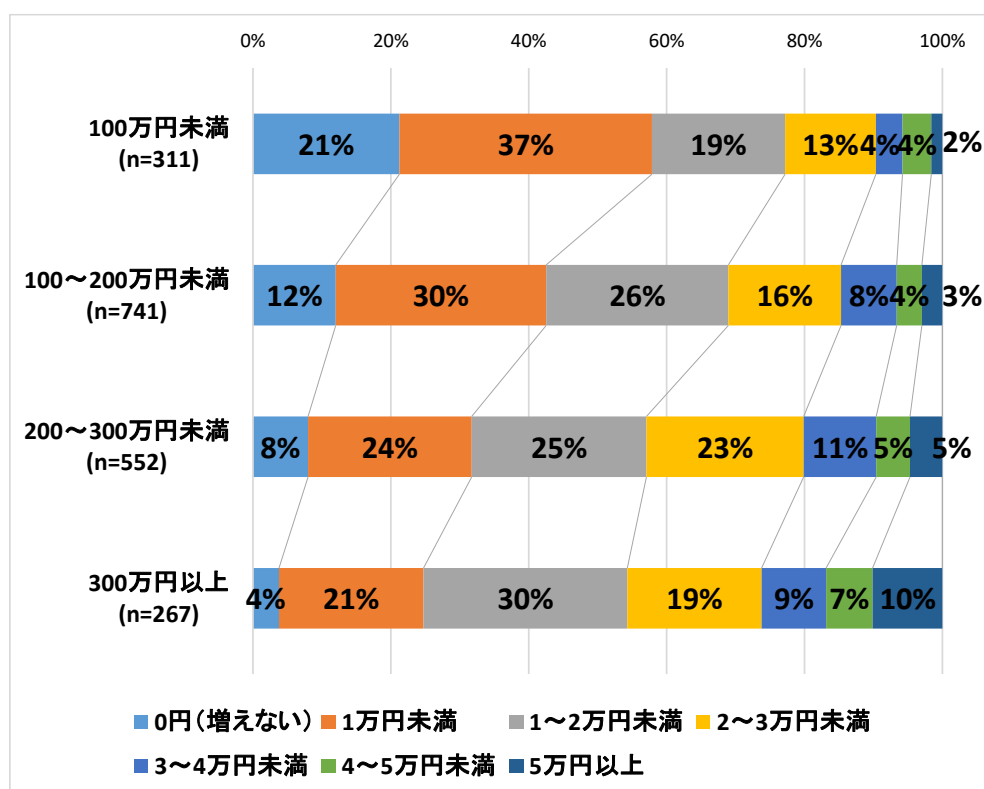


図 30 【世帯所得別】年末年始のイベントのためにどのくらいの出費が増える予定か

¹ 年末年始のイベントのための出費について「0円（増えない）」と回答した以外の方が対象。

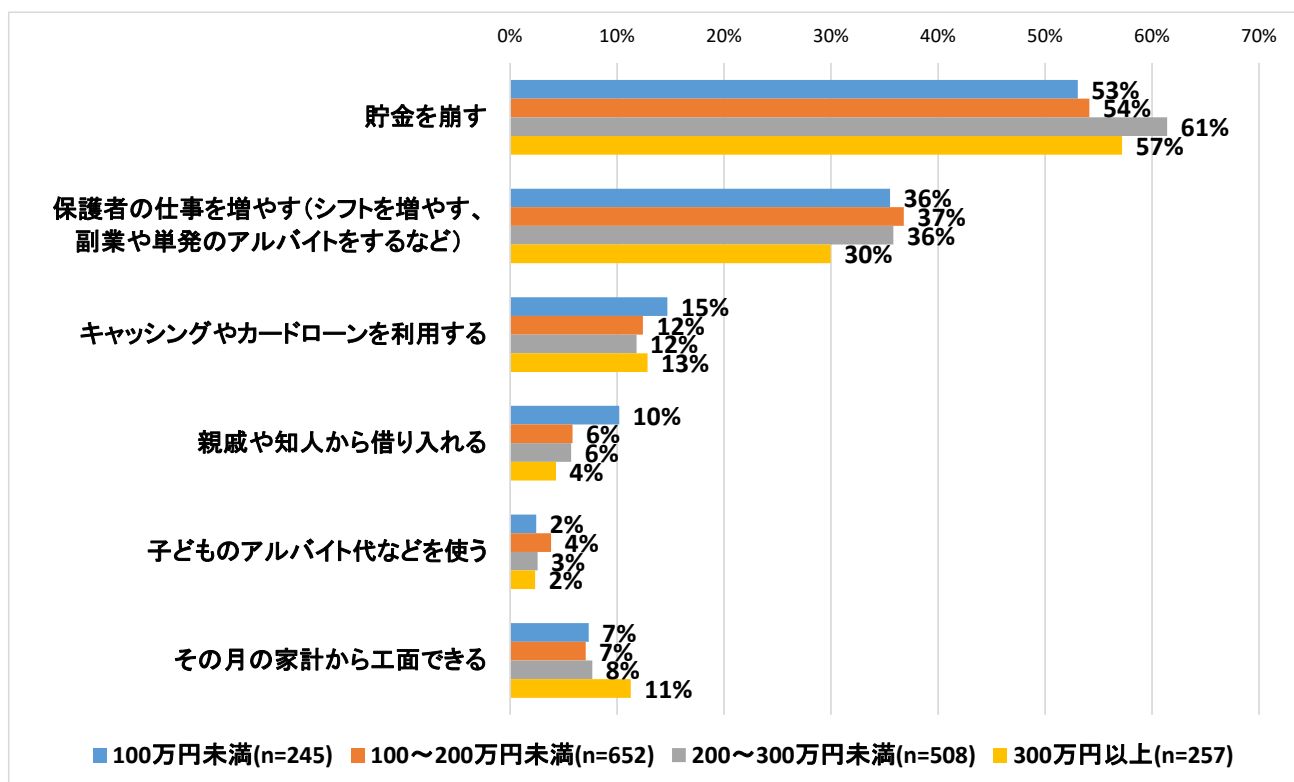


図 31 【世帯所得別】年末年始のイベントで増える出費を工面する方法（複数回答）²

(3) 年末年始の休暇

回答者の現在の就労形態は、「パート・アルバイト」（39%）が約 4 割と最も多く、「正社員（正職員）」（26%）、「無職（働けないなど）」（12%）が続いている。副業や単発のアルバイトなども含め、ふだんの仕事の休みは「週 2 日」（56%）が半数超と最多であり、続いて「週 1 日」（20%）となっている。「休みはない（週 0 日）」との回答は 6%であった。

年末年始の休暇としては、「ある（3 日以上）」（61%）が最も多く、「ある（1～2 日）」（21%）も合わせると、約 8 割は、ふだんの休み以外にも年末年始の休暇があると回答した。2 割弱ではあるが、年末年始の休暇が「ない」（17%）という回答者も存在し、その主な理由としては、「年末年始に休みのない仕事だから」（49%）とともに、「家計のために働く必要があるから」（44%）も 4 割を超えた。

世帯所得別に見ると、年末年始の休暇について、「ある（3 日以上）」の割合は所得が高いグループほど高く、逆に「ない」の割合は所得が低いグループほど高い。年末年始の休暇がない主な理由は、「所得 100 万円未満」では「家計のために働く必要があるから」が最も多く、半数を超えた。

就労形態別に見ると、ふだんの仕事の休みは「自営業等」を除いて「週 2 日」が最も多い。年末年始の休暇が「ある（3 日以上）」との回答は、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」では 7 割程度であるが、「パート・アルバイト」と「自営業等」では 5 割台と低く、「ない」の割合が高くなっている。年末年始の休暇がない主な理由のうち「家計のために働く必要があるから」の割合は、「正社員（正職員）」の 28%に対し、「パート・アルバイト」では 47%であった。

² 年末年始のイベントのための出費について「0 円（増えない）」と回答した以外の方が対象。

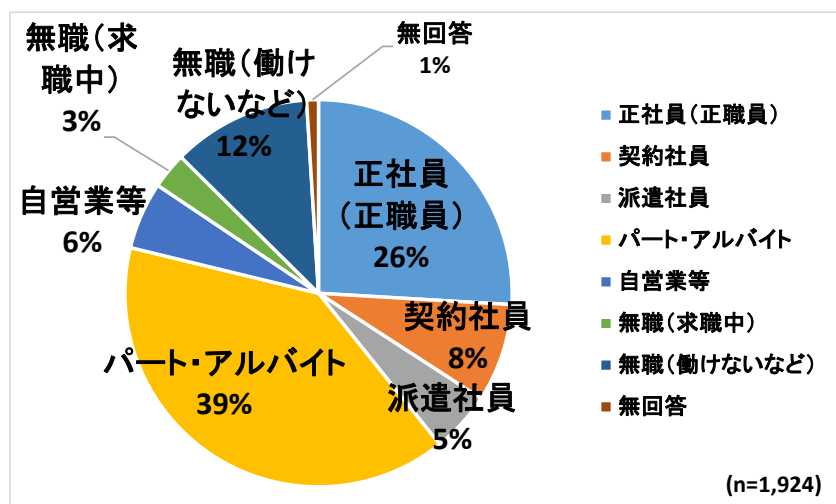


図 32 現在の就労形態

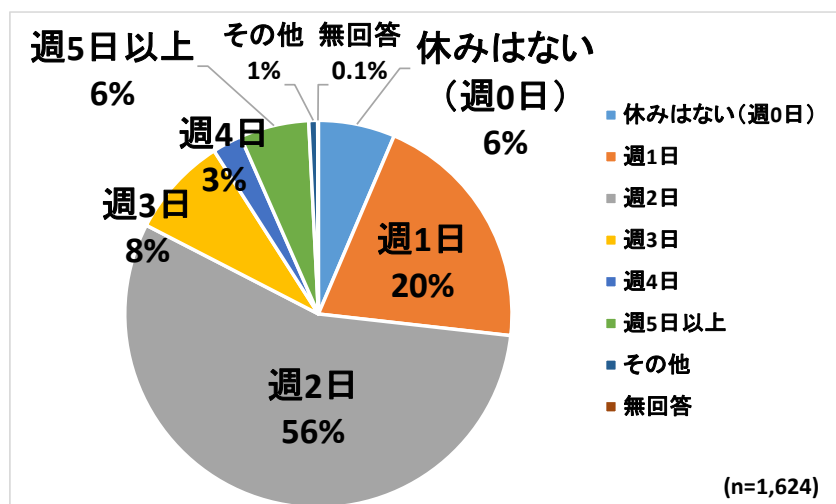


図 33 ふだんの休日日数³

³ 「現在の就労形態」として、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」・「パート・アルバイト」・「自営業等」のいずれかと回答した方が対象。

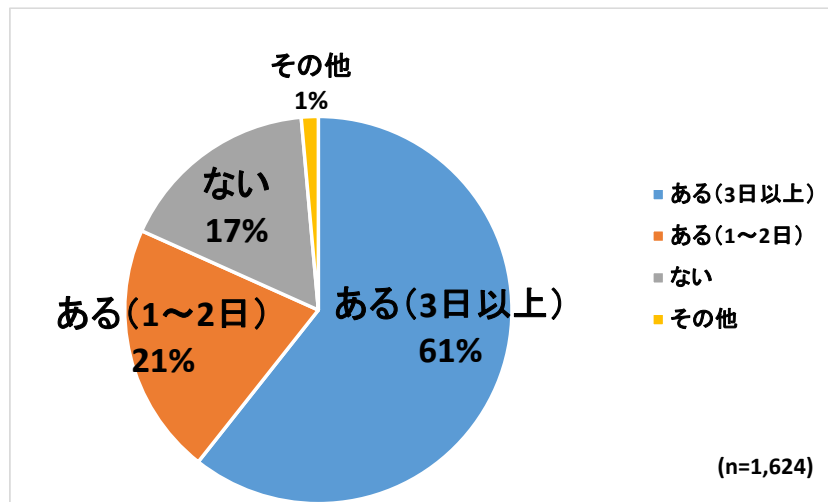


図 34 年末年始の休暇⁴

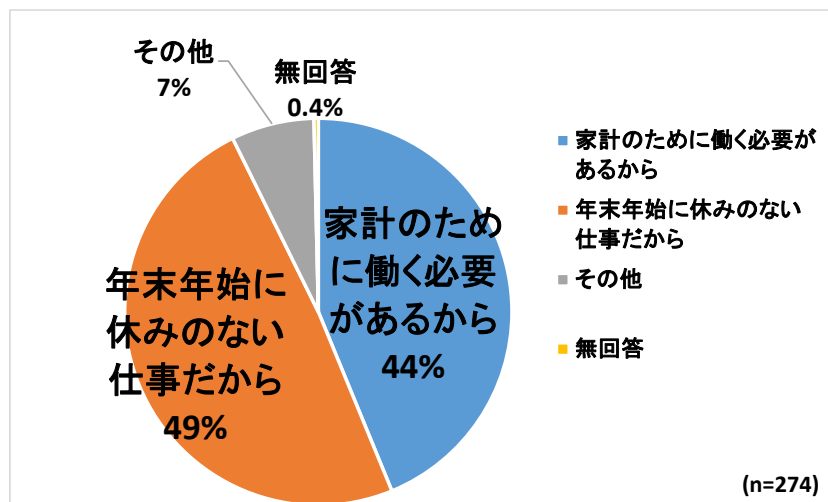


図 35 年末年始の休暇がない主な理由⁵

⁴ 「現在の就労形態」として、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」・「パート・アルバイト」・「自営業等」のいずれかと回答した方が対象。

⁵ 「現在の就労形態」として、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」・「パート・アルバイト」・「自営業等」のいずれかと回答し、年末年始の休暇が「ない」と回答した方が対象。

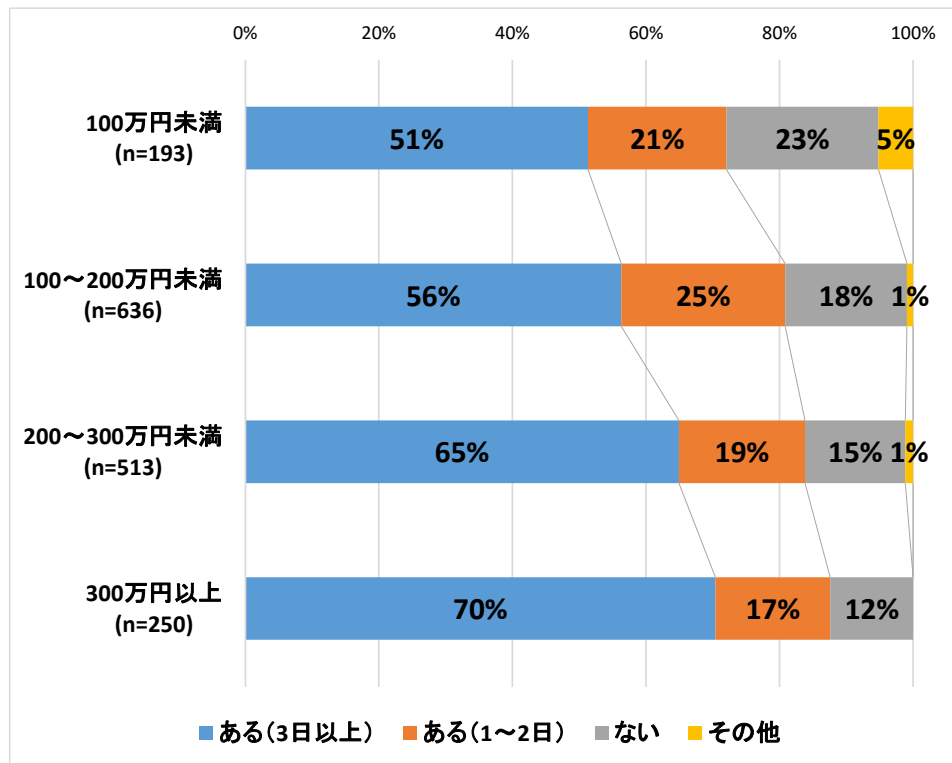


図 36 【世帯所得別】年末年始の休暇⁶

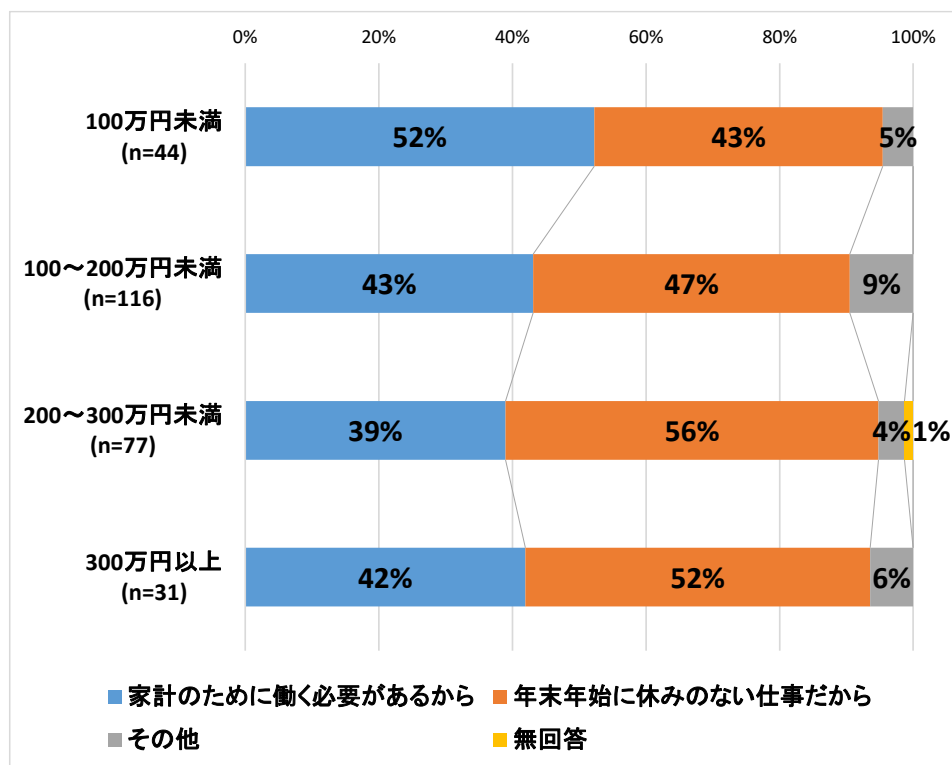


図 37 【世帯所得別】年末年始の休暇がない主な理由⁷

⁶ 「現在の就労形態」として、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」・「パート・アルバイト」・「自営業等」のいずれかと回答した方が対象。

⁷ 「現在の就労形態」として、「正社員（正職員）」・「契約社員」・「派遣社員」・「パート・アルバイト」・「自営業等」のい

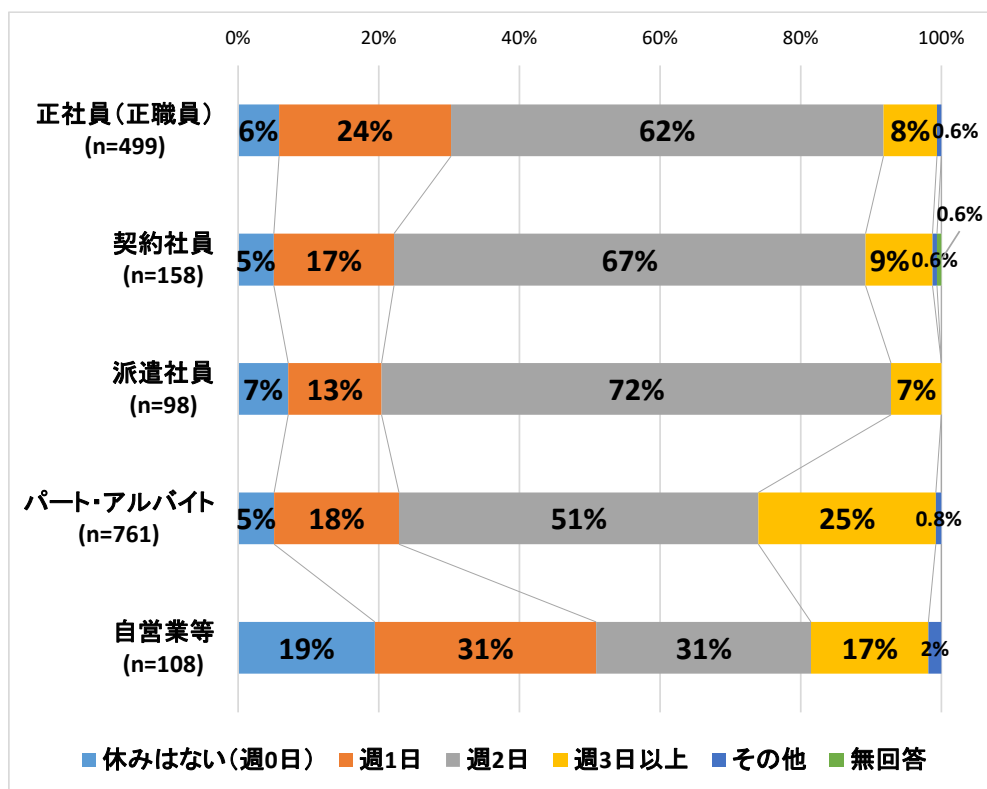


図 38 【就労形態別】ふだんの休日日数

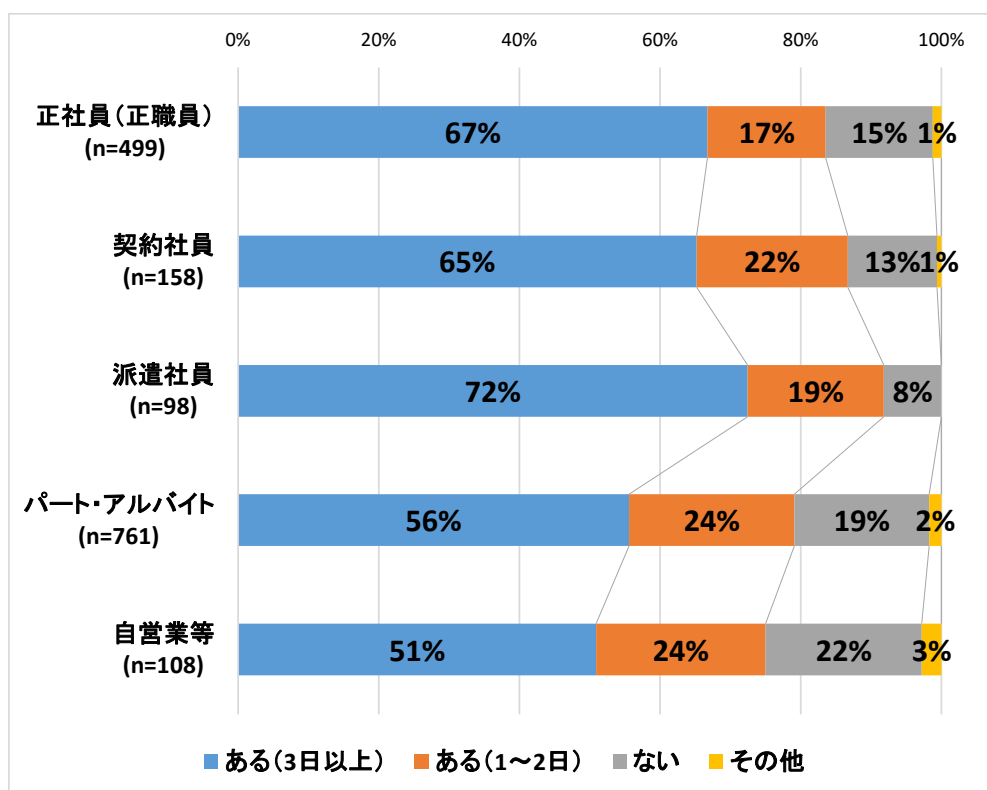


図 39 【就労形態別】年末年始の休暇

いずれかと回答し、年末年始の休暇が「ない」と回答した方が対象。

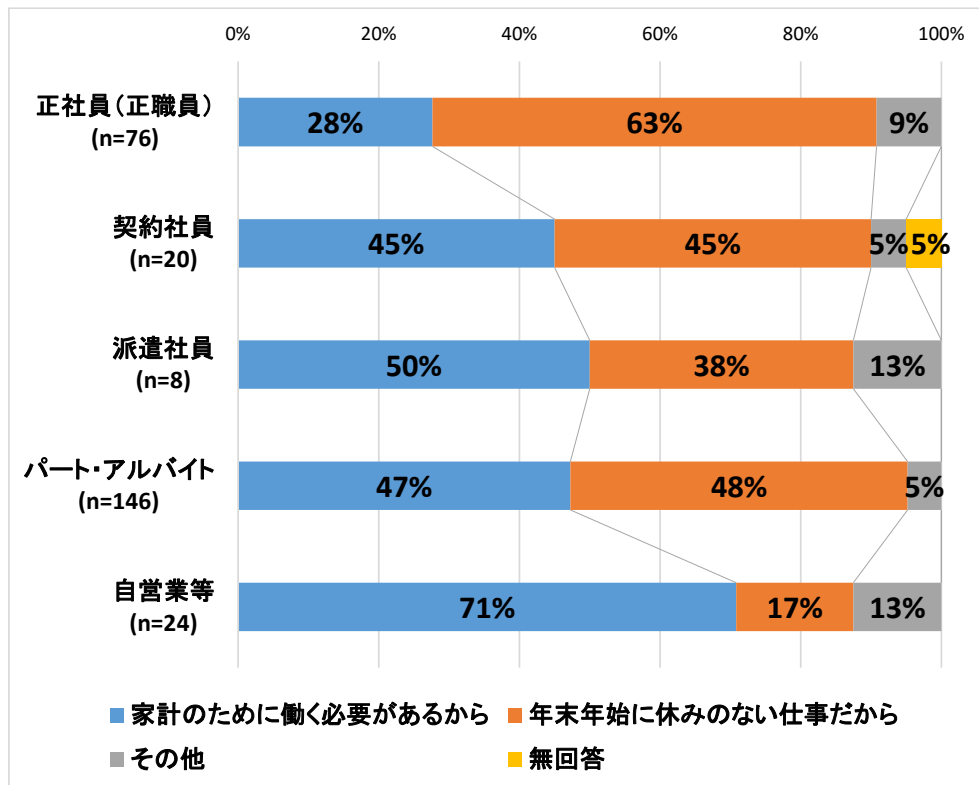


図 40 【就労形態別】年末年始の休暇がない主な理由⁸

(4) 年末年始に向けた心配ごと

多くの家庭が、冬休みに増える食費や光熱費、年末年始の行事に不安を感じている。今までクリスマスケーキを買ったことはない、クリスマスは子どもが1年で一番楽しみにしているので期待に応えたいが難しい、サンタへの願いを叶えられないことをどう伝えようか思案しているなど、子どもたちの希望を実現できない心苦しさを伝える回答が多く寄せられた。また、年明けの友達との会話の中で、子どもが格差を感じてしまうことを心配する声も見られた。

表 3 現在の困りごと ～年末年始に向けた心配ごと～
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- 年末年始に向けた心配ごと
- ・ クリスマス、正月に加えて冬休みの昼ごはん。本当に苦しいです！
 - ・ おせちも購入できないし、食料品は更に値上がるし、何も楽しみがないので毎年1番億劫な季節です。
 - ・ これから年末に向けて出費が増えるのに子供に人並みにクリスマス、お正月の行事をしてあげられるのか不安。
 - ・ クリスマス、年末年始、本当に出費がかさみます。かといって、クリスマスやお年玉等、お友達はあるのに自分にはないという現実が子供が大きくなった時に影響はないのかと心配になるので、お年玉も気持ち程度ですがあげています。シングルマザーで子供4人は本当にしんどいのでわかってもらいたいです。
 - ・ クリスマスの準備と言っても、普通の食事にプラスで、スーパーの400円のピザとケーキの

⁸ 年末年始の休暇が「ない」と回答した方が対象。

代わりの 100 円アイス 2 個、スナック菓子やポップコーン菓子で食卓をかさ増しします。お正月と言っても、3 玉 120 円のソバに天かすを添えて、また 100 円のアイスやピザでごまかし、代わり映えがありません。クリスマスや大みそかの準備ってなんだろうって思っています。

- ・ 毎年の事なのですが、年末年始はいつもと違う出費が必要なのは分かっているので貯金をしないといけないのですが、どう頑張っても貯金できません。毎年、安いケーキを探して購入をしていましたが、今年は無理そうです。親として、情け無くなってきました。
- ・ 物価高で何もかも高く、食料が買えません。今までクリスマスにケーキを買ったことはありません。他の家庭と比べてなんで買えんの？と言われたことがあります。買ってあげたいですが、余裕がありません。
- ・ とにかく生活が苦しくてスーパーに行っても高くてグルグルまわるだけで、納豆とか豆腐とか安価な物しか購入出来ません。おせち料理なんてもう何年も食べてないです。クリスマスは子供が 1 年で一番楽しみにしているイベントなので、期待に応えたいと思いますが、なかなか難しいのが現状です。
- ・ 子ども（高校生のみ）にはお年玉を用意しようと思っていますが、特別な料理やケーキなど用意してあげられないので子どもに対して心苦しく思っています。
- ・ 年末年始、お年玉だけはちゃんとあげたいと思うけど、これから受験費やその後にかかるお金を考えると不安です。
- ・ 年末年始、行事は大切にしたいですが、物価高騰の為、ケーキなどは我慢して、ホットケーキを焼いたりしようかとも思っています。私なりに工夫して、子供に楽しいクリスマスを過ごさせてあげたいです。
- ・ 下の子のサンタさんへのプレゼントのお願いが叶えてあげられないので、どう伝えようかと思案しています。上の子は、わかっているようなので、それはそれでどう言ったら良いかと難しい年頃です。お年玉を楽しみにしているのが心苦しいです。何かとしんどい季節です。
- ・ 年末年始学校がない時は子供たちはやはりずっと家におりますので食費が増える、光熱費が上がるのでその心配はあります。年末年始は特に値段も高いのでクリスマスケーキやお正月のお餅も厳しいかなと思っています。
- ・ 年末年始のイベントについて、毎年頭を悩ませています。特にお年玉は、親戚と学年と年齢で金額がなんとなく決まっているため減らす事ができず、子沢山の親戚との交流が地味に苦痛です。お金に余裕がある時は、感じなかった嫌な感情で自分の事が残念に思います。
- ・ 年末年始は長期休暇になるので祖父の実家にお世話になるようにしているが、親戚（従兄弟、その子ども）が多く集まるため、お年玉の準備が負担に感じている。
- ・ 年末年始は家族が集まるので、お祝いしたいが、物価高騰を受けて日々の生活も苦しいので、あまり特別なことができないし、仕事に出ないと家計が回らないので、みんなと過ごすこともできないのが辛いです。
- ・ 年末年始だけでなく、長期休暇は出費がかさみます。物価高もあり、食費が 1.5 倍ぐらいかかっているので冬休みが怖いです。
- ・ クリスマスプレゼントや年末年始の食費が心配です。金銭的には通常通り過ごしたいですが、やはりイベントを体験させることは子供にとって貴重な時間となり、また友達との会話内にも出てくると思うので多少の無理をしても頑張るつもりではあります。
- ・ 年末になると、冬休みやクリスマスやお正月などイベントが沢山あるけど、子供達には特別な事はやってあげられないので…他のお家との格差で寂しい気持ちにさせてしまわないか…それが今心配です。
- ・ 長男の誕生日にクリスマス、お正月、親戚の付き合いでお年玉などなどの支出がとても不安

です。友達はどこかに旅行に行ったりとかするようで、口に出しませんかうらやましそうにしているのがとても心苦しいです。

- ・ 年末年始らしい伝統の食事をさせてあげたいけれど金銭的に難しい。学校で年始になると必ず、そういった授業があるので体験格差をしみじみ感じます。
- ・ 冬休みはお金がかかるのでどうすればいいのかわかりません。貯金もないしたぶん食べていけない。冬休み前に給付金があれば助かる。
- ・ 年末年始のある冬休みはイベントも多いが、収入が低いと食費ばかり嵩み、プレゼントやイベント費に当てることができず、子どもたちに惨めな思いをさせてしまうのが心配です。子育て世帯、低所得者世帯への現金給付を願います。
- ・ 余裕がないが子供にはクリスマスやお正月など季節の行事やイベントの思い出を作ってあげたいので、クリスマスケーキやおせち料理など支援があるとありがたいです。
- ・ 年末年始やクリスマスにまで子供につらい思いをさせたくなく、ケーキ等用意するつもりですが、その分普段の食料配布がたくさんあれば、助かります。
- ・ 年末年始、クリスマスやお正月に子どもたちのご飯が十分に与えられるか、プレゼントなどちゃんとあげることができるか、子どもたちが楽しく過ごせるかが心配です。支援がいただければ大変助かります。

3.3 現在の困りごと

物価高騰下における生活の苦しさ、年末年始に向けた心配ごとについては前述のとおりであるが、それ以外にも、回答者からは、子どもの学校生活にかかるお金、学習や進学、保護者の就労、公的手当の所得制限といった様々な困難を伝える回答が寄せられた。

中学や高校への進学時に必要な制服に困っている家庭も多く、私服登校、リユース品の活用、現物支給などを求める声があった。また、制服以外にも、通学用の自転車、通学定期、パソコン、修学旅行など様々な費用が必要であり、その工面にも困難を抱えていることが把握できた。高校の授業料の支援について立替をしなくていいようにしてほしい、物価高騰に合わせて就学援助費を見直してほしいといった声もあった。

子どもの学習では、塾に行かせられない、塾代が家計を圧迫して苦しいといった声が多い。塾以外の学習支援を求める回答も複数あり、無料または安価で、近くにあるとよいといった希望も見られた。大学等への進学では、塾代や模試代、受験料、入学金等の進学前に必要な費用、授業料等の進学後の費用の両方について支援の拡充を求める声が寄せられた。

不登校の子どもや障がいを抱える子どもを持つ保護者からは、子どもの将来を心配するとともに、就労への悪影響や支援の必要性を訴える回答があった。18歳以上の子どものいる保護者からは、一番お金のかかる時に支援が途絶え、困窮してしまう状況が伝えられた。

保護者の就労に関しては、子育て中や年齢等の理由から安定した仕事に就くことが難しい、正社員で働いても生活が厳しい、ダブルワークをしても大した収入にならない、中小企業で賃上げが進まないなど、就労によって経済的な苦しさを改善することが難しい状況が伝えられた。また、必死に働くことで子どもと関わる余裕や時間が失われることを悲しむ声もあった。このほかに、資格取得や副業の支援を希望する回答も見られた。

物価高騰が続く中、収入を増やす上でのハードルとなる公的支援の所得制限について言及する回答も多い。がんばって働いても、児童扶養手当の所得限度を超えることで、手当が減り、他の支援が受けられなくなり、逆に生活が苦しくなってしまう、児童扶養手当の所得限度を考えて昇給を断わるなど、就労によって経済的自立を目指そうとするひとり親にとって、既存制度が足枷となっている実態が伝えられて

いる。同じように、住民税非課税についても、わずかな差で非課税ではなくなった場合の苦しさを伝える声が多く寄せられた。

表 4 現在の困りごと
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

<p>➤ 学校生活にかかるお金</p> <ul style="list-style-type: none">・ 下の子どもが来年中学生になるので、準備するお金が無く困っています。制服がブレザーに変更となり金額も上がると聞いているので心配です。児童扶養手当も所得が少し増えたことにより、大幅に減額され 11 月以降絶望しています。働いても働いても助かる道がありません。来年は、上の子が中学校の修学旅行もあるので、費用が払えず行かすことが難しいなと思うのもしんどいです。・ 中学に入学するときに制服などで 14 万円掛かると聞きました。毎月、6 万円で暮らしているので 14 万円という金額は借金しないと公立の中学でさえも入学出来ません。公立の中学校は全て私服での登校にするか、制服での登校にするか選択させていただきたいです。公立の中学校で 3 年間しか使わないのにもかかわらず、借金してまで制服を買わなければならないのでしょうか。・ もうすぐ中学の制服や物品の注文時期なので、援助金が欲しいです。新しいものを揃えてあげたいと思う親心ですが、金額を考えるとどうしても厳しい。ちなみに 2 年前から制服が代わり、我が子が大柄なためお下がりには期待できません。・ 中学になると制服代が高いと聞きました。払えるのか、心配です。制服のお下がりがもらえるような支援があるといいなと思います。学習遠足のバス代がかなり高いです。しかし、就学支援金にはバス代が含まれないので、2 人分がかなり高額で、米代よりも高いです。就学支援金にそういうバス代も含めて支援して頂けたらと思います。・ 来年から中学になると、特別支援学校でも普通の学校よりも高いです。用意しなければならないものがたくさんありすぎるのにお金が足りません。お金が欲しいわけではありませんが、きちんと必要なものを準備できるようにしてほしいです。とにかく中古でも構いませので、揃えられるようにしたいですが、難しそうです。・ 来年は中学校と高校の入学が重なるので、学校にかかる出費が不安で今年の年末は苦しいなと思います。不要になった制服のお下がりや安く購入出来たり貰えたり出来るサービスがあればいいのにといつも思います。制服代がなくなるだけで家計がだいぶ楽になる気がします。・ 来年長女が高校生になりますが、授業料の他の制服代やパソコン購入費がとても心配で借入れを考えるほどです。どうにか備品化だったり無償化してほしいです。・ 高校進学の現物支給がほしいです。いくら？ではなく、制服一式など。高校無償が、実質と言われているため、入学金なども学校にそのまま支援してほしいです。・ 学校の制服、体操服の現物支給が欲しい。金銭的理由から「名前の刺しゅうがない体操服」を着せていたが、運動会前に「なぜ僕の体操服には名前がないの?」と聞かれ、子供が寂しい思いをしていると知り、急いで工面して用意した。就学援助はあるが、学校指定の制服や体操服は値段が高く、援助があっても気軽に買い替えられるものではない。いっその年齢や学年に合わせて配布したり、リユースしたりできる仕組みがあればありがたい。・ 入学時の制服代や自転車購入費用を貸して欲しいです。来春高校生になるので、教育ローンをいろんな箇所で申し込みしていますが、パートや年収が低いと理由から、全部落とされています。本当に悩んでいます。・ 下の子が来年高校生になりますが入学金等奨学金の申請がおりなかったら支払いができません。

せん。通学費も毎月きびしいです。だからといって高校あきらめさせたくありません。

- ・ 公立高校受験すると自宅からの交通費がかさみ、近くの私立高校に行くと授業料無償化とはいえ入学金、制服、施設費、修学旅行費等どちらにしても多額の出費が待ってます。行きたい高校に通わせてあげたいのですが、現実はとても厳しいです。私立高校授業料無償化、素晴らしいと思いますが、ある程度年収がある方からは頂いてもいいのでは…本当に支援が必要な家庭にもう少ししっかり支援があるといいと思いました。
- ・ 高校はお金がかかりすぎる。授業料の補助は後払いの為1度は払わなくてはならない。その制度を見直してほしいです。
- ・ 高校生になると通学費の定期にお金がかかるので片親家庭は割引制度があれば助かると思います。
- ・ 物価高騰で学校に払う金額も増えているが就学援助費は変わらないのが辛いです。
- ・ 物価高で学校にかかる金額が増えているのに、何年たっても就学援助の金額が増えないので、修学旅行費など全然足りない。

➤ 塾・学習支援

- ・ 長女が高校受験です。塾代が払えず自力で勉強しています。併願の私立高校受験をするにしても受験料等かなりひとり親には到底苦しい状況ですが、子供はがんばってくれています。なんとかあと数ヶ月耐えたいと思います。
- ・ 進学校に行ったものの、授業についていくために塾へ行かないといけなく、塾代の捻出がとても厳しいです。
- ・ 受験生になり塾代が家計を圧迫し本当に苦しい。地方だと都市部と比べて支援が少ないように思う。都市部と同じように支援が受けられると助かる。
- ・ 受験生なので、参考書や塾代がかなりかかっています。高校に受かったら引っ越しも考えているので、今は切り詰め、親の食事はふりかけご飯です。
- ・ 就学援助が終わる高校入学の時にいくらかかるのか、とても不安です。来年長男が中学に行きますが塾の話が出てもうちは行かせられません。勉強のサポートが無料または安価でしてもらえるサービス等があると良いなと思いました。
- ・ 塾に通う余裕がありませんので、年末年始まとまった時間のある時に学習支援を受けたいと思います。
- ・ 高3と中3の子供がいるので、それぞれ進学に向けて準備や勉強をやっていますが、中3の子供は塾に行きたいと言っています。塾代が高く、行かせられる余裕がありません。無料で見てくれるところもあるそうですが、場所が遠かったり、送迎が必要になるのでこういった小さな部分でも格差があるのかなと身をもって感じます。
- ・ 無料学習支援の場所が数少ないので学区に1つずつあればとても助かる。
- ・ 英語の授業に初歩的な事もわからず全くついていけません。私も得意ではなく教えてあげられず。学習支援のような物を受けていますが居場所メインで勉強は自習なので勉強を教えてください。塾のような学習支援を受けたいが私の区では高校生が対象で受けられません。途方に詰っています。

➤ 大学受験・進学

- ・ 大学受験のために、模試代、英検代、参考書代、受験代と大学入学前に高額なお金がかかります。塾に行かせてあげることができないため、子供は自力で勉強していますが、他の人より大学受験はハードルが高いです。
- ・ 来年大学受験なので、塾代をサポートして欲しい。大学の受験料も助成して欲しい。

- ・ 子供の大学進学に向けてパソコンや iPad が必要になる予定ですが、中古のモノでも構わないので、支援していただける機会があると、とても助かります。
- ・ 大学に進学する事があたりまえのようになっていく世の中、国公立に行けない私大の場合、子供 2 人だと減免、給付、貸付があってもとても多額に支払いがあり、学費を払う為に働いていますがとても追いつきません。3 人以外の子供 2 人の場合でももう少し支援が欲しいです。半期の学費、設備費がとても苦しいです
- ・ 大学進学のための出費がとても大変です。受験費用や家を借りる費用、家財道具、入学金や授業料、仕送り等これからどう工面すべきか不安だらけです。
- ・ 短大に通ってる子の給付奨学金が打ち切れそうだし、下の子の大学受験も控えています。どちらも国立、公立しか選択していません。私立なんてとてもじゃないけど金銭的に行けないからです。だから子供はひたすら勉強を頑張るしかないのです。国立や公立を目指す子供は、みんな勉強を頑張っています。そういう子供に対する入学金、授業料などの支援を強化させてください。
- ・ 物価高騰や大学の学費など、納める金額が負担で、地方大学にいる子どもが、経済的に帰省することもできない。子ども 3 人目の授業料を無償化にするのではなく、大学進学した子どもたちが、学び続けられるように、給付型の学費の支援をもっとしてもらいたい。
- ・ 大学進学のための奨学金制度の充実と所得制限の額引き下げ。苦しいから働く、収入が上がると所得制限にひっかり、奨学金が受けられない。二人親ではないので一馬力で生活、学費、子どもの生活費を賄い、持ち家ではありますが維持費がとても大きく、そこには補助はないのです。貯金を崩し、子どもにはまだまだお金がかかり、自分の老後のための貯金はゼロです。病気になれば一家共倒れ、不安しかありません。
- ・ 長女が専門学校へ行っています。奨学金を借り入れしていますが、前期、後期ごとのまとまった金額の支払いに困ります。奨学金は毎月振り込まれますが、学校側への支払いは 6 ヶ月分まとめてです。金額が高額なのですぐには用意出来ない。大学や専門学校も無償化にして欲しい。小中高にかかるお金の金額とは桁が違います。
- ・ 現在高校 3 年の娘は大学入学を希望しますが、高額な奨学金を借りることになります。すでに兄 2 人も借りてます。奨学金が将来の生活の負担にならない世の中になってほしいです。

➤ 子どもの不登校・障がい

- ・ 子供が学校でいじめに会い、それから不登校になってしまい、毎日対応に追われてしまい、私自身がバイトの日を減らす毎日になってしまった。日によって、1 人にしておくのが不安な時間帯もあるので、なかなか毎日思うように動けてない。自分の体調もあまり良くないので、生活保護考えてはいるがどうしていいのかわからず悩む毎日である。
- ・ 子どもが学校で長期間にわたって同級生にたたかれたり物を壊されたりしていて、学校に行くのを不安がることがあります。学校に相談して対策をしてくれるのですが不十分で繰り返します。不登校になれば出社ができなくなり収入減に直結します。安心して通える学校がまず基盤として必要です。
- ・ 子供が去年の夏休み明け辺りから不登校気味で、まだ一人で家に居させる訳にも行かず働きに行きたくても行けない日が増えていきます。学力も心配ですが、まずは健康に過ごすために給食に変わる食事提供や見守りをしてくれる人材や場所があればと思っていてもいます。学校での学習が大切だとも感じているため、遅刻早退の対応もしている状態なので、不登校生のサブスクールのような施設の使用はまだ段階ではないとも思っており、どうしても金銭的にも厳しくなっています。そのような不登校の初期段階での対応に悩んでいるので、受けることの出来る施設などの提案など多くの知識が欲しいです。

- ・ 登校拒否児の勉強の支援や話し相手、居場所支援などがあつたら是非教えていただきたいです。明るい子だったのに、このまま勉強もせず家にいてどんどん何もできない子になるかもしれない不安があります。
- ・ 母子家庭であることを同級生に言われ、母のセイだと暴言を言い、不登校ぎみになってしまいました。小学生の頃はなんでもできる子で大丈夫だと思っていた。こんなことになるとは思わなかった。受験生であるのに、全日制が難しくなっている。子どもが安心して通える学校に通わせたかった。今は子どもの将来がとても不安です。
- ・ 片親だけで、子供が不登校の方がどのように子育てをしたり、仕事や家事をこなしているのか？シングル、不登校の親の会みたいなのがあると、色々な支援の仕方がみえてくるのでは。
- ・ ひとり親で発達障害の子を持ちます。母子登校、五月雨登校のため、フルで働けません。
- ・ 発達障害のある子供のいる家庭は離婚しやすく、また子供に手がかかる事からフルタイムに就くのも大変です。
- ・ 障害児を抱えるひとり親です。頼れる身内もおらずうつ病が悪化し生活保護を受けることになりました。とにかく早く元気になり働きたいですが、子どもも不登校のため将来に対する不安しかありません。
- ・ 障害を抱えている家族の支援を増やしてほしい。親のメンタル崩壊、放課後デイサービスの時間の短さ、仕事に行けない。
- ・ 障害児の託児保育が出来る所をもっと作って欲しい。放課後デイサービスや日中一時の事業所がお休みだと働けないから。
- ・ 障害児を抱えたひとり親への情報提供や、サポート、コミュニティなどを増やして欲しい。
- ・ 子供に障害があり、子供の将来にも不安があります。20 歳までで、すべての手当てが終了する現状はとても厳しいです。20 歳になっても軽度精神障害がある子が健常者と同じように社会に出て働き稼ぐのは不可能です。その親が非正規雇用ひとり親である場合の支援が本当に必要だと痛感しています。ひとり親を一括りとせず、色々な家庭の状況をもっと理解してほしいです。手当てがなくなると生きていくのは厳しいです。

➤ 子どもの体験活動

- ・ こどもの仲の良い子たちが、みんな習い事をしていて、我が子は経済面で習い事はさせてあげられる余裕がないので、子どもの友達関係も未来も暗く感じています。もっと、子供にやりたい事をおもいきりさせてあげられる仕組みがあればと思っています。
- ・ 子どもに、お金や物より体験が足りていないと感じます。旅行、習い事、アクティビティなどをさせてあげられる人手や交通手段がなく日常生活で精一杯で、例えば自然の中でのキャンプなどの非日常の体験をする機会がないことが親として申し訳ないです。
- ・ 子どもたちにはひもじい思いをしたり、体験する機会がないようにはしたいと常日頃考えていますが、1人では限界がある時もあります。都市部だけでなく、地方でも参加できるようなイベントの開催があると嬉しいです。
- ・ 子供を旅行に連れて行ったことがなくて、子供が行きたいというのですが、パートなので休めばその分お給料が減ります。子供のうちに体験させたいとも思うのですが、なかなか勇気が出ません。安く旅行に行けるようなサービスがあつたらなあと思います。また習い事をさせてあげたくても、私の体力的な送迎の難しさや、月謝も何でも高いので、ある程度で我慢してもらってる状況です。
- ・ 都内までの交通費を考えてしまい、なかなか参加できるイベントがありませんが、子供たちに夢を与えてくれるイベントを引き続き宜しくお願い致します。大手の会社見学、自分の将来や未来を考えられるようなプログラムが増えると嬉しく思います。

➤ **18 歳以上への支援**

- ・ 今も大変ですが大学生になると支援が色々無くなるのでこれからが不安です。児童手当や医療費無償など無くなったらと考えてしまいます。
- ・ 大学費用や医療費が心配です。子どもが 18 歳を越えると支援をしてもらえなくなるところが多いです。1 番お金がかかるときに支援がなくなるのは不思議です。中学生ぐらいから徐々に教育費関係にお金がかかるようになりました。大学生も支援がほしいです。
- ・ 子供が高校を卒業し専門学校に通っています。学生を扶養し一人で家計を支えているのに児童扶養手当やフードパントリーなどが無くなり大変困窮しています。
- ・ 大学生になると給付型奨学金等あるものの、毎月の支援はなくなります。でもかかる費用は高校までと雲泥の差で高額になります。ほんとに辛い。切り詰めるものは切り詰めてきているのでもうどこも切り詰められないです。
- ・ 大学生の子供も生活が出来ていません。助けて欲しいです。また、病気などにかかった場合でも我慢をして通院が出来ていません。大学生や大学院生などの学生に関しても医療補助（一部支払いのみ）をお願いしたいです。
- ・ 来年 4 月から子供が大学に行き、児童手当、児童扶養手当がなくなり、水道料金と医療費の補助がなくなる。子どもは、まだ学生なのに高校を卒業するとひとり親の援助がすべてなくなるので、生活に不安しかない。

➤ **保護者の就労**

- ・ 1 人で子育てをしながら働くとなると、正社員などのような稼げる仕事は本当に見つけづらい。
- ・ いつ契約を切られるか更新月前がいつも不安です。在宅等の求人状況などがあればほしいです。今まさに更新が急にキャンセルになってしまい、あと 1 週間で職無しです。次の職場も決まっておらず年末に向けて恐怖です。
- ・ 就活中です。年齢が高齢のため安定して働ける職につけず、短期で繋いでます。病院に通うことが増えたので、無理ができないのもあり先の生活に悩んでいます。
- ・ 祝日や長期休み、子どもが体調不良のときに仕事を休むとその分お給料も減るので、在宅勤務の仕事があれば毎月の収入も安定するかなと探しますが、見つけることができません。そのような特集があれば大変助かります。
- ・ 非常勤で働いているので、病気等で休むと無給になるので非常に厳しいです。8 月に 1 ヶ月入院したのですが金銭的に本当に苦しくて辛かったです。
- ・ W ワークで休みなく働いても、大した収入にならず、いつまでこの体が持つのか不安。
- ・ 正社員ですが、ボーナスが夏も冬もなく、生活が厳しいので、仕事をしながら求職中です。
- ・ 仕事内容に見合った給与が支給されないの、生活が苦しいです。介護の現場は、休みも少なく、給与も安い。医療だけでなく、高齢化社会の日本に必須である介護現場で働く職員の環境や賃金アップを望みます！
- ・ 最低賃金は上がっているが、最低賃金より若干高い私は何も変わらない。しかし物価は高騰するばかりでどうしようもない。
- ・ 中小企業勤務で、会社は最低賃金の上昇を追いかけるのがやっとなので、既存社員の賃金は上がらず、物価高に対応できず、借金が増えています。
- ・ 物価が高くなっても正社員ですが給料は上がらず、働く意欲もなくなりそうです。子供が寝た後に夜中に働ける副業を探してるところです。アルバイトの最低賃金は上がっているのに、正社員のお給料は上がらないのはおかしいと思うのですが。
- ・ 手取り賃金を増やしてほしい。時給を上げて、中小企業が立ち行かなくならないよう企業向

けの補助をしっかり行って欲しいです。これから、子供が小学生になるが学童保育の預かり時間が施設により異なるのを何とかして欲しいです。私の校区は学童保育が1カ所しかなく、土曜日や夏休みなどは8時半～と小学校の登校時間より1時間も遅いので大変困ります。収入も減ってしまうので、働き方に合わせた受け入れ態勢を整えてほしいです。

- ・ 高齢ひとり親で子どもの将来を案じて必死に働き続けたら気持ちの余裕も子どもと関わる時間も少なくなった。仕事のストレスや責任が重くなり無理して収入面でも働きすぎず居たら生活はくるしくても気持ちも子どもとの時間ももっと確保できたかもしれないと思う。自分の選択が合っているのかもどうかママ友も似た環境の人もおらず不安。孤立が一番怖いと思う。
- ・ 収入を増やすため働く時間を増やすと子供達と過ごす時間が減ります。特に1番下の子は寂しい思いをしていると思います。上の2人は不登校で子供に寄り添ってあげたいと思いますが働かなければ生活できないので、子供達は毎日家にいるだけとなっている現状をどうにかしたい。
- ・ ITパスポートが取りたいので、支援して欲しいです。
- ・ 昨年の簿記検定の支援はとても自信に繋がった。簿記以外のスキルアップに繋がる資格支援がまたあれば応募したい。職場の関係上、社会福祉士などの資格が取れると嬉しい。
- ・ 休みの日に副業したいのですが、今の職場で禁止されているのでできません。休みの日に働いてすこしでも生活を楽しみたいのですが…副業 OK なところに転職しようか悩んでいます。
- ・ 本職とは別に内職を探しているのですが、SNS 使って～などそんなのばかりでピンときません。安心してお仕事が出来る内職の情報が地域ごとに発信されていたら嬉しいなあと思います。

➤ 公的支援の所得制限

- ・ ダブルワークでねる時間を減らして頑張っている。すると児童扶養手当の対象外になる。働いて損する制度をなくして欲しい。
- ・ 給料が増え、税金も増え、児童扶養手当が減りました。なんのために朝から夜まで働いているのかわからなくなります。どうか、早急に児童扶養手当の所得制限撤廃を望みます。
- ・ フルタイムで働いているので、児童扶養手当は一部支給です。そうなるとその他の援助は受けられるものがなく、生活保護や住民税非課税世帯よりも経済的には厳しい状況になります。
- ・ 今月から最低賃金が上がり、時給が少し上がりましたが、児童扶養手当等の所得制限は上がらないままです。逆に時給が上がることによって、制限に引っかかる可能性があり、児童扶養手当の額が減額されたり、税金が上がり、結果的に手元に残るお金が少なくなり、余計に生活が苦しくなる場合があります。時給は上がることは嬉しいですが、素直に喜べない。
- ・ 児童扶養手当の限度額ギリギリ超える可能性がありました。医療費や扶養手当、就学支援のことを考え、昇給を断りました。とても悩ましい選択でした。
- ・ 児童扶養手当の全部支給になる年収も物価高騰しているのですからそれに見合った年収にしてほしいです。二人目、三人目も、一人目に対して少ないです。一人目と同じように色々お金はかかるのになぜ、価格差があるのでしょうか。
- ・ 今回より児童扶養手当がまた減額になりました。放課後学級の費用も減免等却下され全額自己負担になりました。たかが数十万円の年収が増えたところであらゆる補助が足切りになっては、増えたはずの年収が負担の増加により相殺になっています。そもそも2子以降の加算が少なすぎる。1人増えることがそんなに軽視されているのかと思うと残念でなりません。

- ・ 月給が上がるも税金が増え上がる前と手取りは変わらないのに年収は上がるために就学援助も受けられなくなり一気に学費、給食費が3倍の支出になり生活できない。物価高騰しているが母子手当も一部支給住民税非課税世帯に当てはまらず手当や支援も対象外。頑張っても働くメリットがわからなくなりしんどくなるばかりです。
- ・ 非課税世帯のラインギリギリで該当しないため、これまで現金給付等があっても該当しない。そう言った層が1番苦しい。限界にきている。
- ・ ひとり親で非課税枠からはみ出て、いろいろな助成がなくなり、高校受験や大学受験も重なり、経済的に不安しかありません。助成に甘えてはいけないと思いながらも、給料が上がってもなかなか喜べないです。
- ・ 時給が上がり、仕事を増やしたことで少しか収入が上がりましたが、大学生もいるため出費が大変です。下の中学生は体験格差を感じることもあります。もっと働きたい気持ちもあるが、社会保険などで手取りが減るので増やせなく悔しいです。
- ・ 頑張って働いて、給料が多少上がった、大学の返済不要の奨学金が対象にならず児童扶養手当が減り、国民健康保険が値上がりもう生きている意味さえわかりません。
- ・ ひとり親で子供が4人もいても、年収が300万あると色々な支援を断られた。

➤ 住宅についての困りごと

- ・ 収入のほとんどを家賃にもっていかれてしまうため、都営住宅や区営住宅などシングルマザー向けの低所得者向けの部屋を増やしてほしい。
- ・ 実家で暮らしていますが、子供部屋がありません。なんとか自立したいですが、家賃が高くて難しいです。住まいの問題を解決できるような相談場所や補助がほしいです。
- ・ 私が住んでいる市町村では、ひとり親に対する住宅に関する補助がありません。家賃負担が大きいため、食料支援ばかりではない支援も、政府に考えてもらいたいと思います。
- ・ 家賃が払えなくなりそうです。安全を確保するためには、それなりの住まいが必要です。家賃補助をしてほしいです。

➤ ひとり親のつらさ

- ・ 交通事故の後遺症で10年勤めたパートを退職しました。怪我をゆっくりしっかり治すことができませんでした。1馬力の弱さを感じています。
- ・ 両親とも疎遠なので頼れる人が一人もいない。子どもの成長を誰かと喜ぶこともない。日常的に何気ない会話をできるメンタル面での支えが欲しい。
- ・ 頼れる家族、親族が一切いない中で、自分に急に何かあった時に、子供を急遽預かってもらえる場所が欲しいです。予約制のショートステイなどではなく、体調急変とか事故とか、予測できない事態のときに必要です。
- ・ 私の両親も急逝し、頼れる人がいなくなりました。私に何かあった場合の、子供たちの後ろ盾について悩むことがあります。
- ・ 現在、足を骨折し松葉杖で生活しています。高校生の息子が、学校を休んで洗濯をしたり家事をやってくれたのですが、心苦しくて辛かったです。母親が動けない時に、気軽にSOSができて、家事を助けてもらえるサービスがあったらどんなに良いかと思っています。

➤ その他

- ・ 養育費の支払いを義務化し支払えない場合、罰則がつくようにしてほしいです。
- ・ もう少し働きたいが、今訴訟中で離婚できないまま非課税でなくなった場合に支援が無くなってしまうことが不安です。ひとり親控除も無いので…。長年離婚調停や離婚訴訟をやった

いる人はひとり親と認めてほしいです。

- ・ 子供が4人いますが、年齢差が大きく今後どんどん公的な支援が受けられなくなります（児童扶養手当や多子世帯の支援など）。確かに上の子達は手が離れますがそれぞれ奨学金の返済とあり家計が楽になるわけではないのに支援だけがなくなるのでとても不安です。
- ・ Wi-Fi 支援があると大変助かります。携帯が止まっても、連絡手段が確保できます。光熱費払うのが精一杯で、具合が悪くても病院へいけません。
- ・ 子育てもゴールが見えてきましたが、遠方に住む両親の介護が出てきました。何かと物資を両親に対して支援しています。子育てプラス介護に対する税制や家計の考え方など情報があったら教えていただきたいです。
- ・ 所得制限なしの支援が増えることで、一般世帯との格差が再び大きくなる。
- ・ 親に気を遣って小遣いが欲しいと言えない息子が友達からお金をせびったりしていて学校で問題になった。お金が欲しいと言えないことが、悪への道に繋がっていると感じたので、そう言う側面から育児支援みたいな善悪を改めて思春期の子に教えるみたいな機会があれば良い。
- ・ 公的支援では行き届かない、特に地方への情報提供や具体的な支援を行なったださり感謝しています。公的な支援には人員、費用も限界がありますので、こういったキッズドアさんの支援はきめ細かく支援して下さるので今後も必要性が高いと感じています。

以上